TW3A-A35シリーズ

USER'S GUIDE

ユーザーズガイド

◀画面で読むマニュアル▶

Contents

このたびは、TWシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書（ユーザーズガイド）では、本機を使うための詳細な説明、および本機で周辺機器を使うための説明を掲載しています。

別冊のセットアップガイドでは、梱包箱を開けてから、必要な機器を接続して、Windowsのセットアップを終了するまでの手順を説明しています。本機を正しくお使いいただくためにも、必ずセットアップガイドからお読みください。

また、製品仕様およびその他の製品情報は、当社Webサイトに掲載しております。

ONKYO®

本書の読みかた

本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容および、物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
☞ 参照ページ	機能の詳細を別のページで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。

※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

製品の表記について

■ イラストや画面表示に関して

本書中に出てくるWebサイトの内容およびURL、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

■ Windows® 7の表記について

本書では、Windows® 7を、Windowsと省略して表記する場合があります。
Windows 7には、背景を透かして表示させるWindows Aeroという機能がありますが、本書ではこの機能をOFFにした画面で説明しています。

操作の表記について

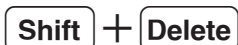
■ メニューを選択する操作

つぎつぎとメニューを選択していく操作を「→」を使って省略しています。
たとえば、スタートボタンから「ペイント」のプログラムまでを選択する動作を、

[スタート] ボタン→ [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ペイント] を選択します。

と表記しています。

■ 複数のキーを同時に押す操作

何かのキーを押しながら、ほかのキーを押す動作を「＋」を使って省略しています。
たとえば、Shiftキーを押しながら、Deleteキーを押す動作を、

と表記しています。

■ ダイアログの表示を省略

Windows 7では、セキュリティー上の観点から、一部設定で操作の許可を求めるダイアログが表示されます。
本書では、これらダイアログの表示を省略して説明しています。
表示されるダイアログは、使用しているユーザーアカウントの権限やユーザーアカウント制御の設定によって異なります。ダイアログが表示された場合は、次のように操作してください。

・アカウントの種類が「管理者」の場合
　[はい] ボタンをクリックします。

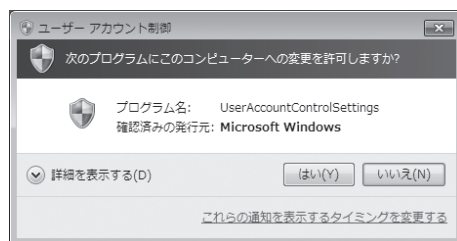
・アカウントの種類が「標準ユーザー」の場合
　アカウントの一覧が表示されます。「管理者」のアカウントにパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

ユーザー アカウント制御

次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?

プログラム名:　UserAccountControlSettings
確認済みの発行元: Microsoft Windows

詳細を表示する(D)　はい(Y)　いいえ(N)

これらの通知を表示するタイミングを変更する

セットアップガイドについて

セットアップガイドでは、梱包箱を開けてから、必要な機器を接続して、Windowsのセットアップを終了するまでの手順を説明しています。本機を正しくお使いいただくためにも、必ずセットアップガイドからお読みください。

ONKYO電子マニュアルについて

ONKYO電子マニュアルでは、本書で説明しきれないWindows 7の基本的な操作方法や、インターネットや電子メールの設定方法などを説明しています。必要に応じて参照してください。
ONKYO電子マニュアルはデスクトップ上のアイコンから簡単に起動できます。

起動

1. **デスクトップ上にある「ONKYO電子マニュアル」のアイコンをダブルクリックします。**

ONKYO電子マニュアルが起動します。

画面の構成

① 項目
ONKYO電子マニュアルの内容を、種類ごとにわけたメニューです。
クリックすると、項目ごとに本文見出しが表示されます。

② 本文見出し
項目ごとに用意された、見出しの一覧です。
クリックすると、本文見出しごとに小見出しが表示されます。

③ 小見出し
本文見出しごとに用意された、見出しの一覧です。
本文見出しによっては、小見出しがない場合があります。

操作方法

1. **項目をクリックします。**
項目に対応した本文見出しが、画面左側に表示されます。

2. **本文見出しをクリックします。**
本文見出しに対応した本文が、画面右側に表示されます。

本文見出しによっては、小見出しのないものがあります。

3. **小見出しをクリックします。**
小見出しに対応した本文が、画面右側に表示されます。

仕様と注意事項

・ONKYO電子マニュアルは、Windows 7に標準搭載のInternet Explorer 9.0で閲覧することを前提に制作しております。
・ONKYO電子マニュアルは、本製品以外での動作は保証いたしかねます。
・ONKYO電子マニュアルは、オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社の著作物です。
・ONKYO電子マニュアルの内容は、予告なしに変更される場合があります。またONKYO電子マニュアルを運用した結果については、弊社は一切の責任を負わないものとします。
・ONKYO電子マニュアルで紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
・ONKYO電子マニュアルは、著作権法によって保護されています。一部または全部を無断で複製、転載、改変、カスタマイズ、頒布することを禁じます。特にONKYO電子マニュアルを編集および改変してご利用になると、本製品の誤使用の原因となります。

ACアダプターと電源ケーブルを接続する

ACアダプターおよび電源ケーブルを接続しましょう。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってACコンセントから電源をとる方法と、内蔵バッテリーを使う方法の2通りあります。

ACアダプターの取り付け

ACアダプターを取り付けて、内蔵のバッテリーを充電します。

- **オンキヨー株式会社純正のACアダプターおよび電源ケーブル以外は、絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。**
- **ACアダプターおよび電源ケーブルの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターおよび電源ケーブルが発熱し、火災を起こす恐れがあります。**

1. **ACアダプターのプラグを、本機のDC入力端子に差し込みます。**

2. **電源ケーブルをACアダプターと電源コンセントに接続します。**

バッテリーLEDが青色に点滅し、バッテリーの充電が始まります。

アース線を電源コンセントに接続しない場合は、アース端子がショートしないように注意してください。

電源コンセントにアース端子がある場合は、安全のため必ずアース線を接続してください。

DC入力端子

バッテリーLED( )

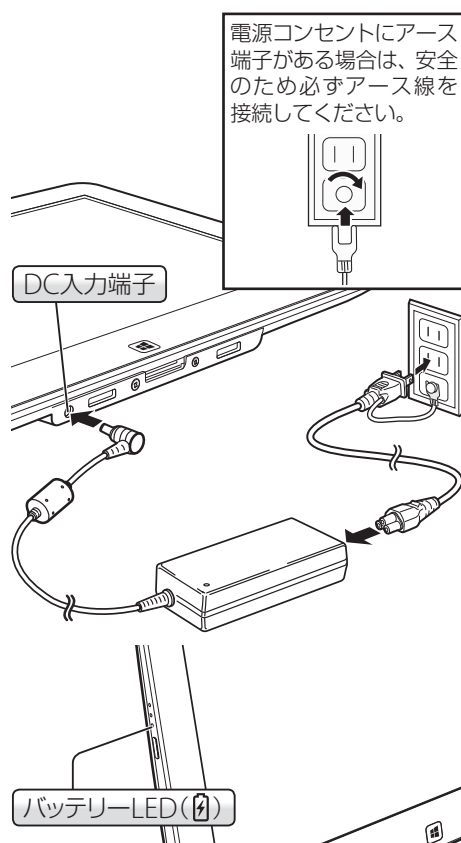
バッテリーLEDの表示とバッテリーの状態

状態	内容
遅い点滅（青）	バッテリーが充電中の状態です。
速い点滅（青）	バッテリー残量が少ない状態（3%以下）です。すぐにACアダプターを接続して電源を供給するか、電源をOFFにしてください。
点灯（青）	バッテリーが満充電時など、充電を停止している状態です。
消灯	ACアダプターが未接続など、充電をしていない状態です。

バッテリーのみで使用するときは、バッテリーLEDの点灯状態を確認して充電されたことを確認後、ACアダプターを取り外してください。

AC電源で使用するときは、このままACアダプターを接続してください。

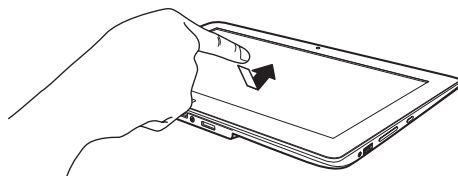
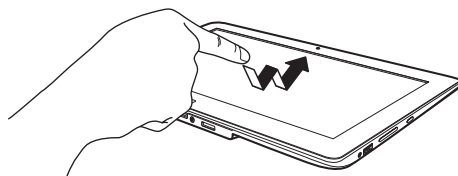
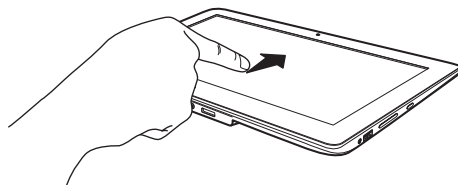
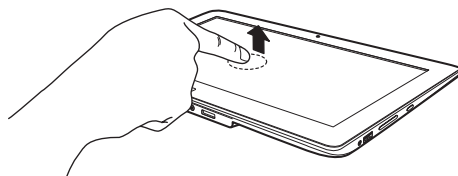
バッテリーの残量が少ない状態でアプリケーションの操作を続けると、データやプログラムファイルが消えるなどの不具合が発生する恐れがあります。
バッテリーの残量がすべて無くなると、アプリケーションの使用中でも電源がOFFになります。バッテリーの警告音が鳴ったらすぐにデータを保存してください。

- バッテリーの充電中も本製品を使用できます。
- 本製品に付属のACアダプターは、100V～240Vに対応しており、自動的に切り替わりますので海外でも使用できます。ただし、海外の電源コンセントは、日本と形状が異なる場合がありますので注意してください。

基本の操作

タッチパネルを使用してマウスカーソルを操作したり、前面／側面にあるボタンを使用して、各種の機能を実行できます。

タッチパネルを使う

タッチパネルにタッチすることで、マウスのクリックやダブルクリックの操作ができます。

■ クリックする
アイコンなどを選択します。クリックするには、画面をタッチします。

■ ダブルクリックする
アイコンなどを起動させます。ダブルクリックするには、ダブルクリックしたいものを2度タッチします。

■ ドラッグする
アイコンなどを任意の場所に移動します。ドラッグするには、ドラッグしたいものにタッチしたまま、任意の場所へ移動します。

■ 右クリックする
マウスの右ボタンをクリックする動作です。
右クリックするには、アイコンなどを2秒間タッチして円で囲まれたところで離します。

タッチパネルを強く押さないでください。タッチパネルの下側にあるカラー液晶ディスプレイに干渉し、しみになったり、不具合が発生する可能性があります。

ソフトキーボードを使う

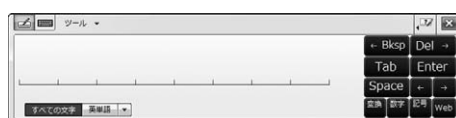
ソフトキーボードを画面上に呼び出すことで、文字を入力することができます。

1. **画面の左端に少し見えているソフトキーボードのアイコンを1回クリックします。**

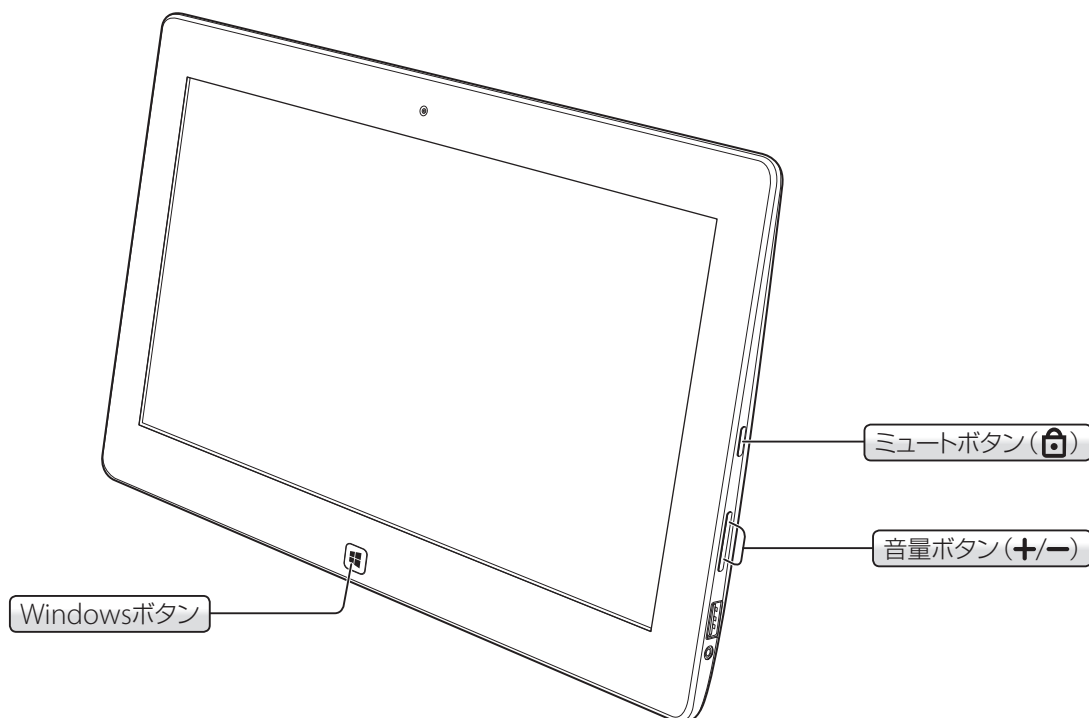
ソフトキーボードのアイコンが隠れてしまっている場合でも、画面の左端をクリックすることで、ソフトキーボードのアイコンが表示されます。

2. **ソフトキーボードのアイコンを、もう一度クリックします。**

ソフトキーボードが表示されます。

・ソフトキーボードの左上のボタン をクリックすることで、「タッチキーボード」と「手書パッド」の切り替えができます。
・ソフトキーボードの操作の詳細については、ソフトキーボードの［ツール］メニューから［トピックの検索］を選択して表示されるソフトキーボードのヘルプを参照してください。

（手書パッド）

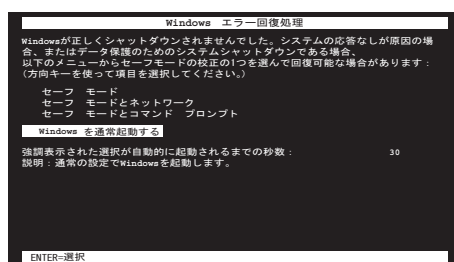
前面／側面ボタンの操作について

前面／側面にあるボタンを使用して、各種の機能を実行できます。

■ ミュートボタン（🔒）

音声のON/OFFを切り替えます。

■ 音量ボタン（＋/ー）

音量を調整します。＋を押すと音量が上がります。ーを押すと音量が下がります。

強制終了やバッテリー切れで正しくシャットダウンされなかった場合などは、次の起動時にWindowsが起動せず、「詳細ブートオプション」または「Windows再開ローダー」というメニューが表示されます。その場合、メニューの選択は音量ボタンの（＋/ー）で、項目の決定はミュートボタン（🔒）で操作できます。

■ Windowsボタン

1度押すとスタートメニューを表示します。長押し（4秒間）すると、ユーザーの切り替えやタスクマネージャを起動する画面（キーボードのCtrl＋Alt＋Delete操作で表示される画面）が表示されます。

アプリケーションソフトの操作中に、マウスカーソルが動かなくなってしまったときなど、操作が続けられないときは、Windowsボタンを長押し（4秒間）して表示される画面で「タスクマネージャの起動」を選択して、特定のアプリケーションを終了させることができます。

Windows 7をセットアップする

必要な機器を接続した後、Windows 7をセットアップしましょう。
Windows 7のセットアップが終了すれば、本機のセットアップは完了です。

セットアップの準備をする

Windows 7のセットアップ中は、画面の切り替えに少し時間がかかることがあります。「しばらくお待ちください」といったメッセージが表示されたり、マウスカーソル(マウスポインター)が待機中を知らせる形になっているときは、タッチパネルを何度もクリックしたり、キーボードのキーやマウスのボタンを何度も押さないでください。

・操作の途中で電源を切らない！
Windowsのセットアップには、少し時間がかかります。Windowsのセットアップ中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。セットアップが終わる前に電源をOFFにすると、故障の原因となります。

・ACアダプターを接続したままでおこなうこと
セットアップの途中でバッテリーが不足しないよう、本機とACアダプターを接続したまま、セットアップをおこなってください。セットアップが終わる前にバッテリーが不足すると、故障の原因となります。

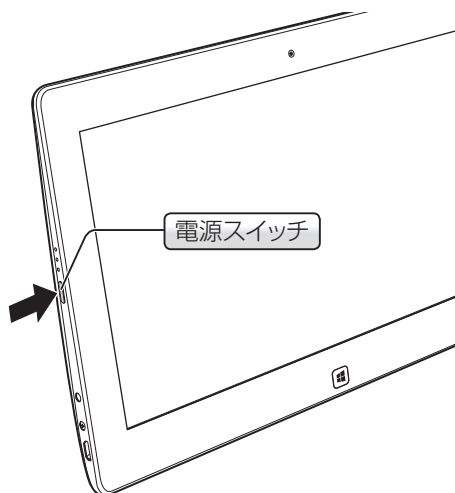
・画面表示が消えてしまったら・・・
セットアップの途中で、しばらく操作をせず放置すると、画面表示が消えてしまうことがあります。タッチパネルをクリックしたり、マウスやキーボードの適当なキーを押すと、再度表示されます。

Windows 7のセットアップ中に、文字の入力が必要なときは、ソフトキーボードが表示されます。背景等にタッチしてソフトキーボードが消えてしまった場合は、文字を入力するエリアをタッチすることでソフトキーボードを呼び出すことができます。

1. **電源スイッチを押します。**

ACアダプター接続時は電源スイッチを1回押すと電源がONになります。バッテリー動作時は電源スイッチを長押し(3秒間)すると電源がONになります。

本機の電源をONにしてから、しばらくの間は、画面の表示がいろいろ変化します。手順2の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

誤動作防止のため、バッテリー動作時は電源スイッチを長押し(3秒間)しないと電源がONになりません。

2. 次のように設定してください。
「国または地域」: 日本
「時刻と通貨の形式」: 日本語（日本）
「キーボードレイアウト」: Microsoft IME
確認後、[次へ] ボタンをクリックします。

画面はWindows 7 Home Premiumで説明していますが、セットアップの手順はその他のエディション（グレード）も同じ流れになります。

次の画面が表示されます。

3. 「ユーザー名を入力してください」にユーザー名を任意で入力します。

「ユーザー名」「コンピューター名」「パスワード」は、忘れないように控えをとっておいてください。

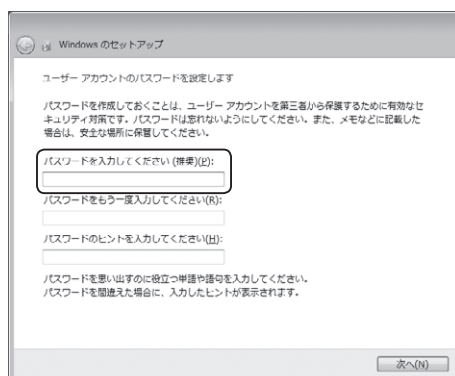
4. 必要に応じ、「コンピューター名を入力してください」のコンピューター名を変更します。

ユーザー名を入力すると、ユーザー名の後ろに「-PC」と付いたコンピューター名が自動的に入力されます。

5. [次へ] ボタンをクリックします。

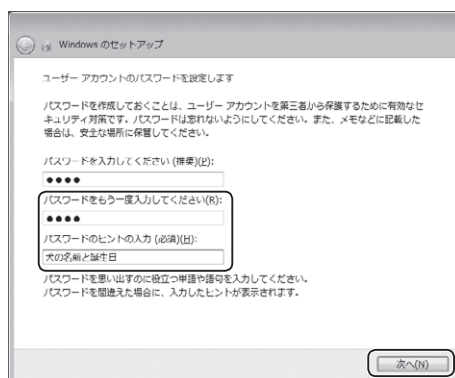
次の画面が表示されます。

6. 必要に応じて、「パスワードを入力してください」に任意のパスワードを入力します。

セキュリティー上の観点から、パスワードを設定しておくことをおすすめします。パスワードを設定しない場合は、手順9に進みます。

7. **「パスワードをもう一度入力してください」に手順6で入力したパスワードを再度入力します。**

8. **「パスワードのヒントの入力」にパスワードを思い出すためのヒントを入力します。**

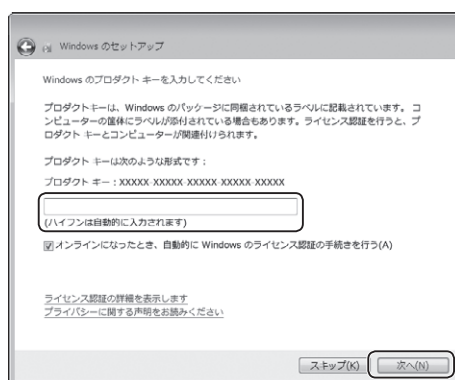
9. **［次へ］ボタンをクリックします。**

次の画面が表示されます。

10. **プロダクトキーを入力します。**

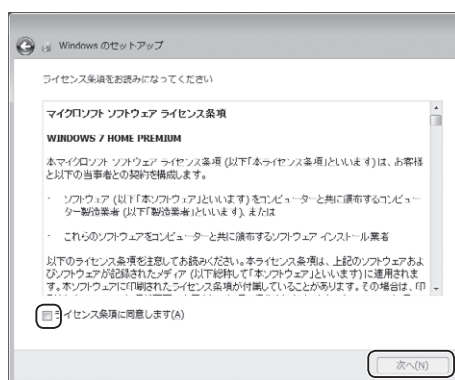
この画面で、プロダクトキーの入力を必ずおこなってください。
（「スキップ」を選択しないでください。）

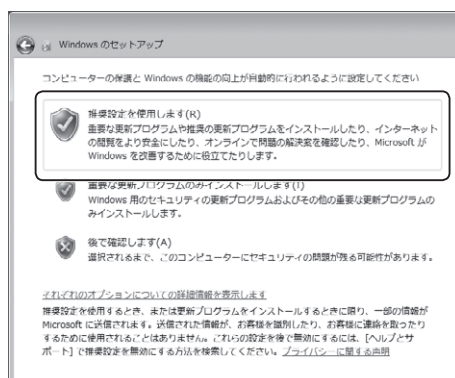
11. **プロダクトキーについて**

⚠ **重要**

- プロダクトキーはコアシールに印字され、製品本体に貼り付けられています。
- コアシール（およびプロダクトキー）は再発行できません。製品本体から剥がしたり、印字面を汚したりしないでください。
  プロダクトキーが不明な状態となりますと、リカバリー後のセットアップ時に、コアシールに記載のプロダクトキーが入力できなくなり、Windowsの機能が制限されたり、本製品が正常に使用できなくなります。

12. **ライセンス条項をお読みの上、「ライセンス条項に同意します」をクリックしてチェックを入れ、［次へ］ボタンをクリックします。**

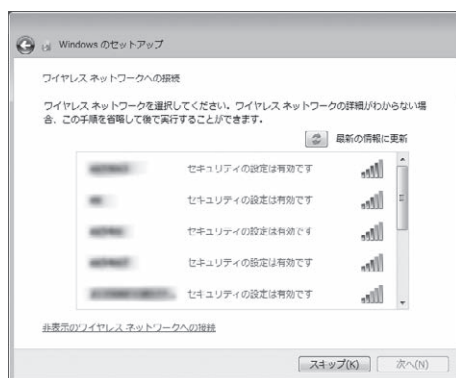
ライセンス条項に同意しなければ、Windowsのセットアップを続けることはできません。

次の画面が表示されます。

13. **「推奨設定を使用します」をクリックします。**

次の画面が表示されます。

14. 現在の日付、および時刻を正しく設定して、[次へ] ボタンをクリックします。

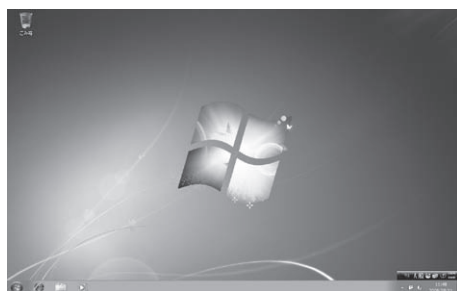
次の画面が表示されます。

15. ワイヤレスLANの設定をセットアップ終了後におこなう場合、[スキップ] ボタンをクリックします。

すでにワイヤレスLANの接続環境が整っており、ここでワイヤレスLANの設定をおこなう場合は、接続先を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

16. 本機がネットワークに接続されている場合、接続環境にあわせて接続場所を選択します。

本機がネットワークに接続されていない場合、この画面は表示されません。

不明な場合は「パブリックネットワーク」を選択し、Windows 7のセットアップの終了後に設定してください。

しばらくすると自動的に再起動し、デスクトップ画面が表示されます。

以上で、Windows 7のセットアップは完了です。

セットアップ完了後、Windows Liveの設定画面が表示されます。必要に応じて、画面の指示にしたがって設定してください。

電源のON/OFF

電源をON/OFFする方法を説明します。
電源をOFFにするときは、作業状況に応じて複数の終了方法が選択できます。

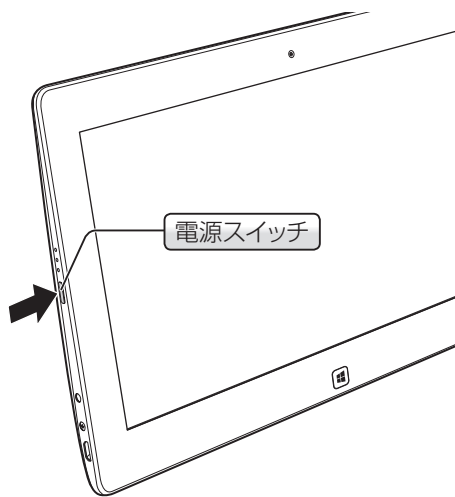
電源のON

本機の電源をONにします。Windowsのセットアップが終了すれば、次に電源をONにしたとき、そのままWindows 7のデスクトップ画面が表示されます。

1. **電源スイッチを押します。**

ACアダプター接続時は電源スイッチを1回押すと電源がONになります。バッテリー動作時は電源スイッチを長押し（3秒間）すると電源がONになります。

しばらくすると、Windows 7のデスクトップ画面が表示されます。
※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

・ユーザーアカウントにパスワードを設定している場合は、ログオン画面が表示されます。パスワードを入力して、をクリックします。
・誤動作防止のため、バッテリー動作時は電源スイッチを長押し（3秒間）しないと電源がONになりません。

電源のOFF

電源をOFFにするには、「シャットダウン」をおこないます。また、いったん電源をOFFにし、自動的に電源をONにし直す「再起動」も選択できます。

■ シャットダウン

すべてのソフトウェアを終了させて電源をOFFにする場合は「シャットダウン」を選択します。

1. **[スタート] ボタン→ [シャットダウン] ボタンを選択します。**

注　意

シャットダウンの操作で終了せず、いきなり電源スイッチを押して電源をOFFにする動作を繰り返すと、Windows 7のシステムが壊れて、Windows 7の再セットアップが必要になることがあります。電源をOFFにするときは正しい手順で操作してください。

本機の電源が完全にOFFになります。
次回、電源をONにするときは、電源スイッチを押します。

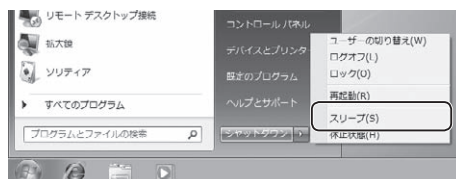
■ スリープ

作業を中断して、本機の使用をすぐに再開できる「スリープ」機能があります。

1. **[スタート] ボタン→ [終了オプション] ボタンを選択します。**

「終了オプション」メニューが表示されます。

2. **[スリープ] を選択します。**

スリープ状態に入ります。
スリープ状態から元の状態に戻すには、ACアダプター接続時は電源スイッチを1回押します。バッテリー動作時は電源スイッチを長押し（3秒間）します。

誤動作防止のため、バッテリー動作時は電源スイッチを長押し（3秒間）しないとスリープ状態から復帰できません。

本製品のスリープ仕様について

本製品はインテル®ラピッド・スタート・テクノロジーにより通常のスリープよりもさらに消費電力を抑えた休止状態に近いスリープモードに入ります。
インテル®ラピッド・スタート・テクノロジーとは、パソコンがスリープ状態になると、メモリーの代わりにソリッドステートドライブ（SSD）に現在の動作状況をまとめたデータを保存することで消費電力を低減し、さらに高速に元の状態に復帰する機能です。バッテリー持続時間の向上と元の状態に復帰する時間の短縮というメリットがあります。

「終了オプション」メニューのその他の項目

「ユーザーの切り替え」：Windowsを終了せずに、別のユーザーアカウントに切り替えます。切り替え前の作業状態は保持されます。
「ログオフ」：Windowsを終了せずに、別のユーザーアカウントに切り替えます。切り替え前の作業状態は無効になります。
「ロック」：作業状態を保持したまま、Windowsを使用できない状態にします。一時的に離席するときなどに使用します。

ユーザーアカウントの作成方法については、ONKYO電子マニュアルを参照してください。

■ 再起動

デバイスドライバーのインストールが終了したあとや、Windowsの動作が不安定（画面が乱れたり、画面が動かない）になったときは、Windowsを再起動させます。
[スタート] ボタン→ [終了オプション] ボタンを選択し、[再起動] を選択すると、再起動が実行されます。

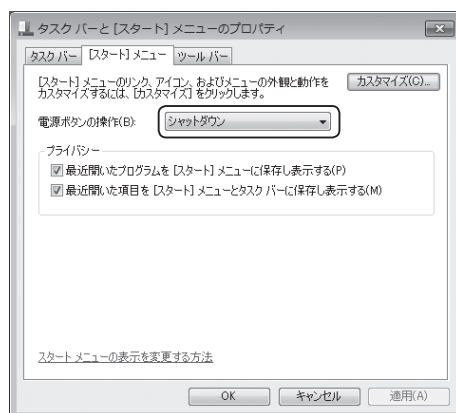
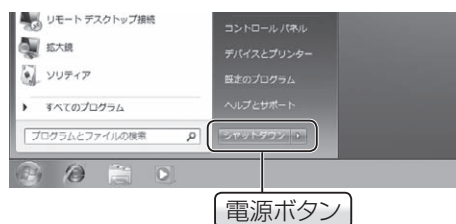
アプリケーションソフトの操作中に、マウスカーソルが動かなくなってしまったときなど、操作が続けられないときは、Windowsボタンを長押し（4秒間）して表示される画面で「タスクマネージャの起動」を選択して、特定のアプリケーションを終了させることができます。

[スタート] メニューの [電源] ボタンの動作を変更する

[スタート] メニューの [電源] ボタンを、他の項目に変更することができます。
ここでは、動作を変更する手順について説明します。
初期設定ではシャットダウンに設定されています。

1. **[スタート] ボタンを右クリックして表示されるメニューから、[プロパティ] を選択します。**
【タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ】が表示されます。

2. **「電源ボタンの操作」から、設定したい電源ボタンの動作を選択します。**

3. **[OK] ボタンをクリックします。**

これで [電源] ボタンの設定は完了です。
[スタート] メニューの [電源] ボタンに、手順2で設定した項目が表示されます。

ユーザーアカウントの切り替え

本機に複数のユーザーアカウントが登録されているとき、本機の電源をONにしたままで、ユーザーアカウントを切り替えることができます。

1. **[スタート] ボタン→ [終了オプション] ボタンを選択します。**

「終了オプション」メニューが表示されます。

2. **[ユーザーの切り替え] または [ログオフ] を選択します。**

[ユーザーの切り替え] を選択すると、現在のユーザーアカウントをログオンしたまま、ユーザーアカウントを切り替えることができます。
[ログオフ] を選択すると、現在のユーザーアカウントをログオフします。

3. **本機の使用を開始するユーザーアカウントを選択します。**

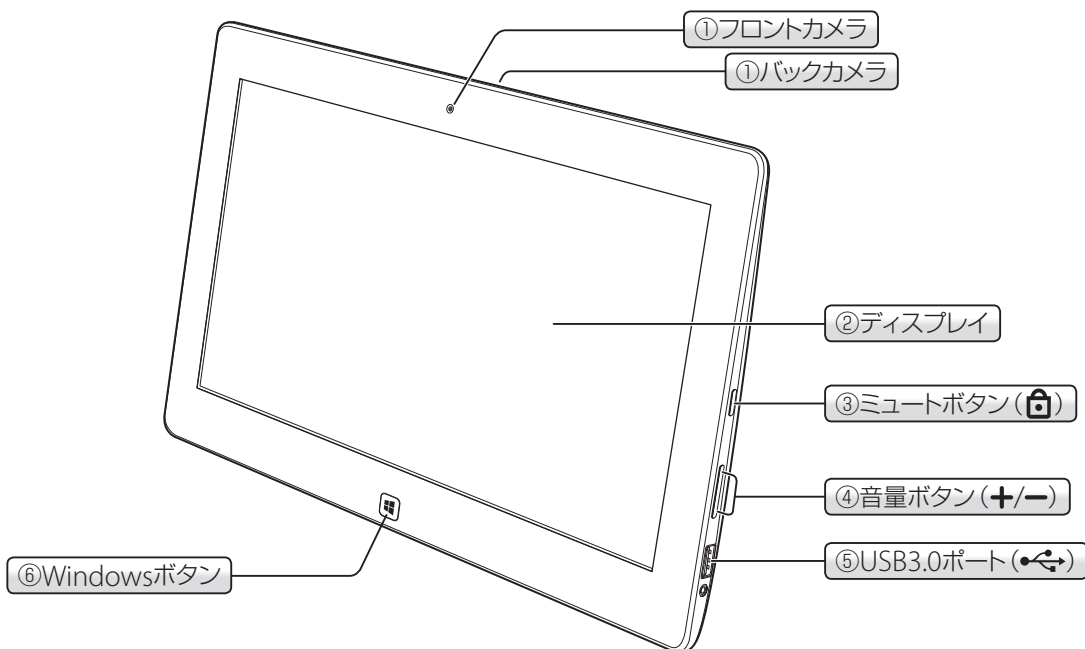
・パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。
・パスワードが拒否された場合は、大文字と小文字を間違って入力していないか再度ご確認ください。Windows 7では、Tarouとtarouは違う文字列として判別されます。

しばらくすると、Windows 7のデスクトップ画面が表示されます。

※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

各部の名前と機能を確認する

本体各部の名前とその機能について説明しています。

まえ/みぎ

① バックカメラ/フロントカメラ

静止画や動画を撮影できる内蔵のカメラです。

バックカメラとフロントカメラの切り替えは、付属のWebカメラ操作ソフト「Youcam 3」で操作します。切り替えの操作については「内蔵カメラの切り替え」（☞44ページ）を参照してください。

② ディスプレイ

本機のディスプレイはタッチパネルになっています。ディスプレイにタッチすることで、マウスと同じようにWindowsを操作できます。

③ ミュートボタン（ ）

音声をON/OFFします。

④ 音量ボタン（＋/－）

音量を調整します。＋を押すと音量が上がります。－を押すと音量が下がります。

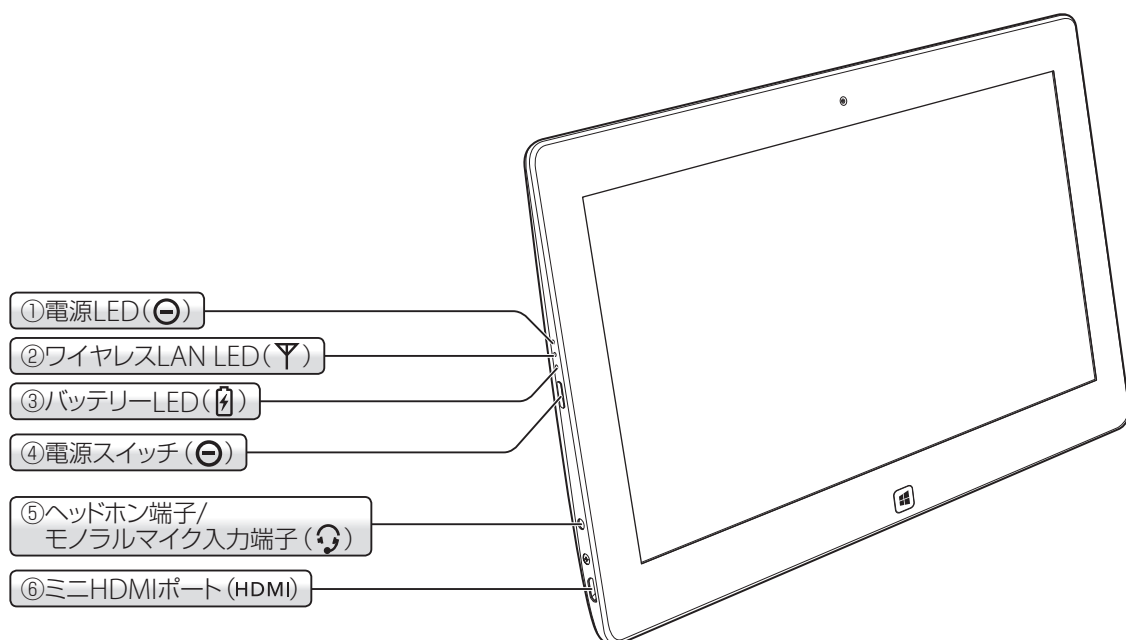
⑤ USB3.0ポート（ ）

USB3.0対応の周辺機器を接続します。USB2.0およびUSB1.1対応の周辺機器も接続できます。
ただし、転送速度などは、それぞれUSB2.0規格（Hi-Speed）・USB1.1規格（Full-Speed）に基づきます。

⑥ Windowsボタン

1度押すとスタートメニューを表示します。長押し（4秒間）すると、ユーザーの切り替えやタスクマネージャを起動する画面（キーボードの Ctrl ＋ Alt ＋ Delete 操作で表示される画面）が表示されます。

アプリケーションソフトの操作中に、マウスカーソルが動かなくなってしまったときなど、操作が続けられないときは、Windowsボタンを長押し（4秒間）して表示される画面で「タスクマネージャの起動」を選択して、特定のアプリケーションを終了させることができます。

ひだり

① 電源LED(⊖)

電源が入っている状態を表示します。

点灯(青):本機の電源がONの状態です。

点滅(青):本機がスリープの状態です。スリープの状態から復帰する場合は、電源スイッチを押します。

本製品はインテル®ラピッド・スタート・テクノロジーが有効になっており、電源LEDの動作仕様が通常のスリープとは異なります。
インテル®ラピッド・スタート・テクノロジーが有効なときは、点滅→点灯→消灯の順でLED状態が変化し、最後は消灯状態となります。

② ワイヤレスLAN LED(Y)

ワイヤレスLANの機能が正常であれば点灯します。

ワイヤレスLAN LEDは、ワイヤレスLANが接続または切断の状態に関わらず、機能として正常であれば点灯します。ワイヤレスLANの接続状態は、Windowsの通知領域で確認してください。(☞26ページ)

③ バッテリーLED()

バッテリーの状態を表示します。(☞20ページ)

④ 電源スイッチ(⊖)

電源OFF時に電源スイッチを押すと、本機の電源をONにします。(☞12ページ)
ACアダプター接続時は電源スイッチを1回押すと電源がONになります。バッテリー動作時は電源スイッチを長押し(3秒間)すると電源がONになります。

誤動作防止のため、バッテリー動作時は電源スイッチを長押し(3秒間)しないと電源がONになりません。

電源ON時に押すと、設定した動作を実行します。初期設定ではスリープ状態に設定されています。
設定は[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[電源オプション]欄の[電源ボタン動作の選択]で選択できます。

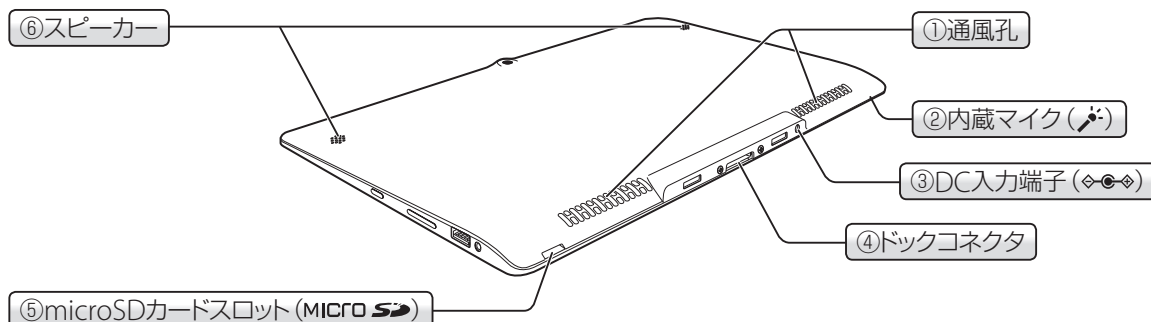
注 意

電源をOFFにしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。

⑤ ヘッドホン端子/モノラルマイク入力端子（4極ミニジャックOMTP準拠）（）
ヘッドフォン、マイクロフォン、またはヘッドセットを接続します。（☞39ページ）

ヘッドホン端子/モノラルマイク入力端子はOMTP準拠です。CTIA準拠のヘッドセットなどの機器は使用できません。

⑥ ミニHDMIポート（HDMI）
HDMI端子付きのディスプレイやテレビを接続します。（☞43ページ）

うしろ

① 通風孔
パソコン内部の熱を冷却する風を通します。壁などで塞がないでください。

② 内蔵マイク（）
音声を本機に取り込みます。

③ DC入力端子（）
付属のACアダプターを接続します。（☞19ページ）

注意

- **付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。**
- **ACアダプターの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターが発熱し、火災を起こす恐れがあります。**

④ ドックコネクタ
別売のキーボードドックやクレードルを接続します。

⑤ microSDカードスロット（micro SD）
microSDカードを差し込みます。（☞41ページ）

microSDカードには差し込む向きがあります。
方向を確認して、正しく差し込んでください。

⑥ スピーカー
Windowsのシステム音や、マルチメディアを使用したときの音声が出力されます。

ACアダプターの接続とバッテリーの充電

本機の電源は、付属のACアダプターを使ってACコンセントから電源をとる方法と、バッテリーを使う方法の2通りあります。

初めて使うときは

バッテリーは十分に充電されていない状態で出荷されています。本機を初めてお使いになるときは、ACアダプターを接続してください。バッテリーの充電が始まります。

警告

- **オンキヨー株式会社純正のACアダプター以外は、絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。**
- **ACアダプターの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプターが発熱し、火災を起こす恐れがあります。**

バッテリーの充電中も本製品を使用できます。

■ ACアダプターの接続とバッテリーの充電

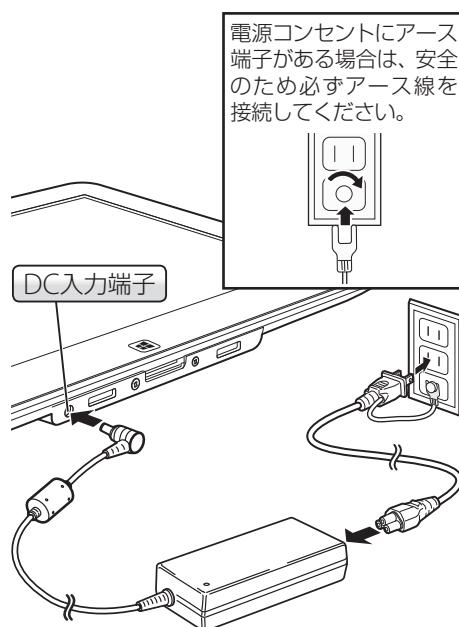
1. **ACアダプターのプラグを、本機のDC入力端子に差し込みます。**

2. **電源ケーブルをACアダプターと電源コンセントに接続します。**

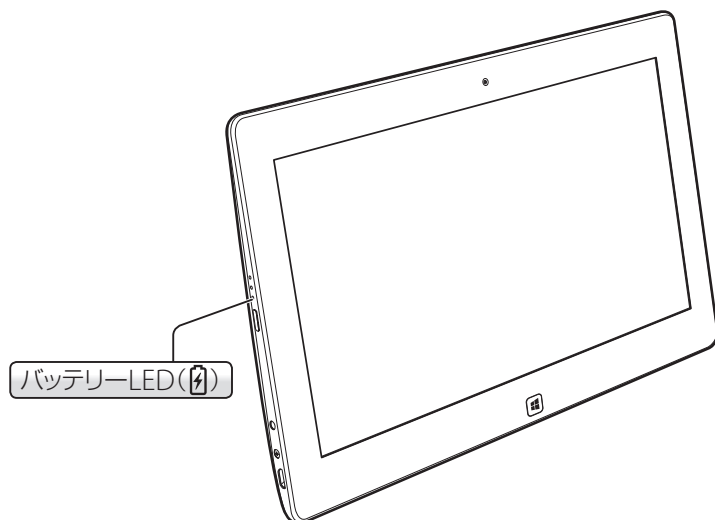
バッテリーLEDが青色に点滅し、バッテリーの充電が始まります。

注意

アース線を電源コンセントに接続しない場合は、アース端子がショートしないように注意してください。

本製品に付属のACアダプターは、100V～240Vに対応しており、自動的に切り替わりますので海外でも使用できます。
ただし、海外の電源コンセントは、日本と形状が異なる場合がありますので注意してください。

バッテリーのみで使用するときは、ACアダプターを取り外してください。
AC電源で使用するときは、このままACアダプターを接続してください。

バッテリーLEDの表示

本機のバッテリーの状態を、バッテリーLEDで確認できます。

バッテリーLEDの表示とバッテリーの状態

状　態	内　容
遅い点滅（青）	バッテリーが充電中の状態です。
速い点滅（青）	バッテリー残量が少ない状態（3%以下）です。すぐにACアダプターを接続して電源を供給するか、電源をOFFにしてください。
点灯（青）	バッテリーが満充電時など、充電を停止している状態です。
消灯	ACアダプターが未接続など、充電をしていない状態です。

- **本機にはバッテリーが内蔵されていますが、お客様で取り外しや交換をしないでください。バッテリーの交換は、オンキヨーPCカスタマーセンターにお問合せください。**
- **バッテリーの残量が少ない状態でアプリケーションソフトの操作を続けると、データやアプリケーションソフトが消えるなどの不具合が発生する恐れがあります。**
  バッテリーの残量がすべて無くなると、アプリケーションソフトの使用中でも電源がOFFになります。バッテリーの警告音が鳴ったらすぐにデータを保存してください。

バッテリー残量低下時の終了動作の設定

バッテリー残量が低下したときや無くなったときに、パソコンをどのような状態で電源をOFFにするかを設定できます。

1. **[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ] → [電源オプション] を選択します。**

お客様の表示方法の設定によっては、[スタート] ボタン→ [コントロールパネル] →[電源オプション] となります。

【電源オプション】ウィンドウが表示されます。

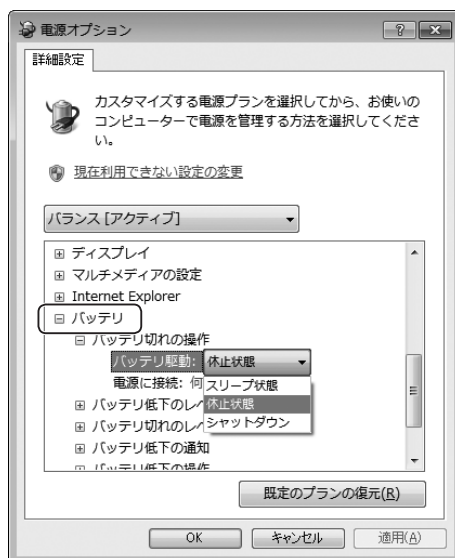
2. **「バランス」、「省電力」の項目から、いずれかチェックの入っている項目の「プラン設定の変更」を選択します。**

【プラン設定の編集】ウィンドウが表示されます。

3. **「詳細な電源設定の変更」を選択します。**

【電源オプション】ダイアログが表示されます。

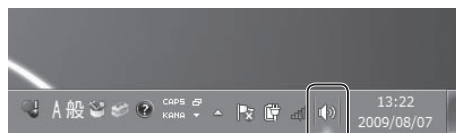
4. **詳細設定の一覧から「バッテリ」を選択し、バッテリー残量が低下したときや無くなったときに、どのような状態で電源をOFFにするかを設定します。**

音量の調整

本機には、サウンド機能が搭載されており、音声を出力できます。ここでは、音声の音量を調整する方法を説明します。

Windowsから調整する

Windowsを使って、音量を調整します。

1. **デスクトップ画面右下のタスクバーにある [スピーカー] アイコンをクリックします。**

音声を調整する画面が表示されます。

2. **次の項目を設定します。**

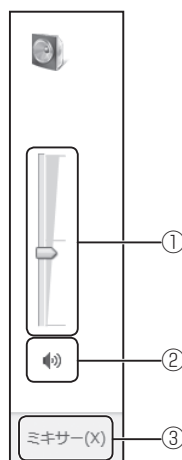
①音量

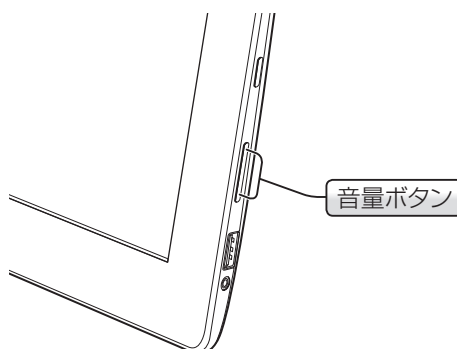
ドラッグして、音量を調整します。

②ミュート

音声のON/OFFを切り替えます。

③ミキサー

内蔵スピーカーおよび外付けスピーカー・ヘッドホンなどから出力される音声と、Windowsのシステムが出す音声を、個別に設定します。

音量ボタンで調整する

側面の音量ボタンで音量を調整します。
＋を押すと音量が上がります。ーを押すと音量が下がります。

表示画面の変更

壁紙やウィンドウのデザインなど、表示される画面のデザインを任意に変更することができます。ここでは、表示される画面のデザインを変更する方法について説明します。

視覚効果と音の変更

壁紙やウィンドウ、効果音など、あらかじめWindowsに用意されたデザインに変更します。

1. **デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、[個人設定] を選択します。**

【個人設定】ダイアログが表示されます。

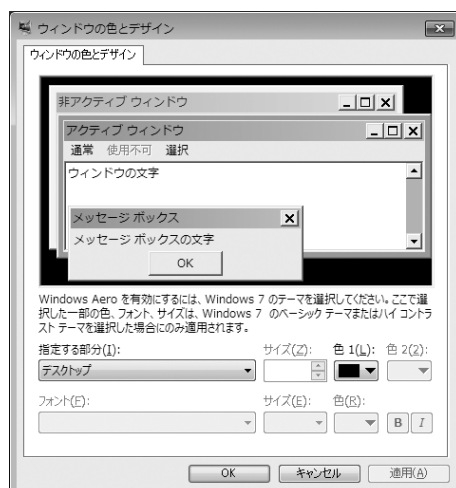
2. **表示されるテーマの一覧から、設定したいテーマを選択します。**

選択したテーマにしたがい、デザインが変更されます。

壁紙の変更

【個人設定】ダイアログから［デスクトップの背景］を選択すると、デスクトップの背景（壁紙）を変更できます。
背景は、Windowsにあらかじめ用意されているものから選択したり、自分で用意した画像に変更することができます。

デザインの変更

【個人設定】ダイアログから［ウィンドウの色］を選択すると、ウィンドウのデザインを変更できます。
ウィンドウのパーツごとに、色やフォントを変更できます。

マウスポインターの変更

【個人設定】ダイアログから［マウスポインターの変更］を選択すると、マウスポインターの形状を変更できます。

解像度の変更

デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、［画面の解像度］を選択すると、画面の解像度を変更できます。

ワイヤレスLANの使用

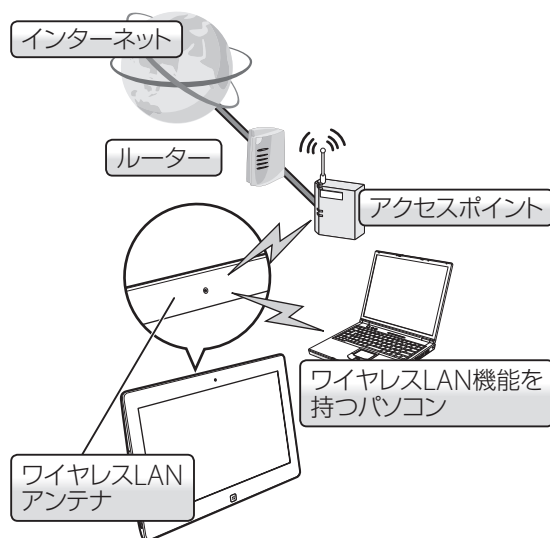
本機には、「IEEE802.11a/b/g/n」規格に準拠したワイヤレスLANモジュールが内蔵されており、他のパソコンと無線通信ができます。

ワイヤレスLANとは

ワイヤレスLANとは、LANケーブルを使わないで、無線通信でデータをやり取りするLANのことです。「アクセスポイント」と呼ばれる別売の中継機器や、ワイヤレスLAN機能を持つ他のパソコンと無線通信でデータをやり取りできます。

インターネットにも接続可能

市販のルーターにアクセスポイントを接続して、本機にケーブルを接続することなく、ワイヤレスLANでインターネットに接続できます。

・ワイヤレスLAN機能は、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gおよびIEEE802.11n方式に準拠しています。それ以外の方式およびBluetooth方式対応の通信機器とは通信できません。
・電波障害によるノイズの発生など他の機器に影響を与える場合や、ワイヤレスLANの機能を使わないときは、ワイヤレスLAN機能をOFFにしてください。
・無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。

セキュリティーに関するご注意

ワイヤレスLANでは、電波で情報のやり取りをおこなうため、セキュリティーに関する設定をおこなっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。
・IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、次のような行為をされてしまう可能性があります。
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

セキュリティーの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定をおこない、ワイヤレスLANを使用してください。

ワイヤレスLANの仕様

ワイヤレスLANモジュールの仕様です。
※通信速度、通信距離は使用状況、電波環境、接続機器、使用のアプリケーションなどにより異なります。
※通信速度は規格による速度（理論値）であり、実際のデータ転送速度とは異なります。

規　格	IEEE802.11n準拠（2.4GHz帯） IEEE802.11b/g準拠（2.4GHz帯） IEEE802.11a準拠（5GHz帯）
最大通信速度	300Mbps（IEEE802.11n） 54Mbps（IEEE802.11g） 11Mbps（IEEE802.11b） 54Mbps（IEEE802.11a）

※通信中にレーダー波（気象レーダーなど）を検出した場合、チャンネルの自動変更のため通信が中断される場合があります。

ワイヤレスLANに接続する

■ 自動認識での設定

1. **通知領域に表示されているをクリックします。**

ネットワークの一覧が表示されます。

・通知領域にが表示されていない場合は、をクリックすると表示されます。
・をクリックしてもが表示されない場合は、ワイヤレスLANの機能が無効になっている可能性があります。
[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→［ネットワークの状態とタスクの表示］→［アダプターの設定の変更］を選択し、無効になっているワイヤレスネットワーク接続を選択して、［このネットワークデバイスを有効にする］をクリックするとワイヤレスLANの機能が有効になります。

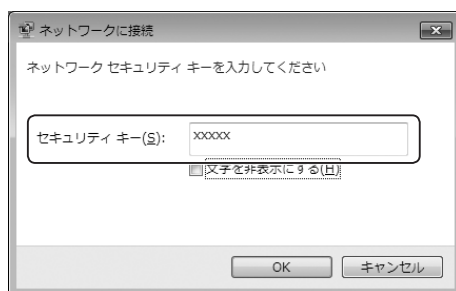
2. **ネットワークの一覧から、使用するワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選択して、［接続］ボタンをクリックします。**

セキュリティキーを設定している場合、【ネットワークに接続】ダイアログが表示されます。

・セキュリティキーを設定していない場合は、そのままワイヤレスLANに接続されます。
・一覧に接続可能なネットワーク（アクセスポイント）が表示されない場合はをクリックします。

3. **「セキュリティキー」を入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

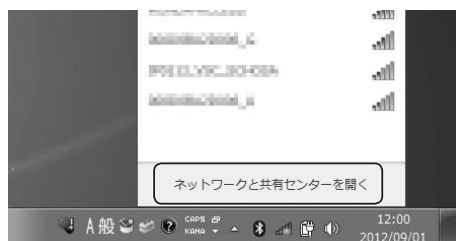
本機がワイヤレスネットワークに接続されます。

別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

■ 手動での設定

1. **「自動認識での設定」（☞27ページ）の手順1を実行します。**

ネットワークの一覧が表示されます。

2. **「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。**

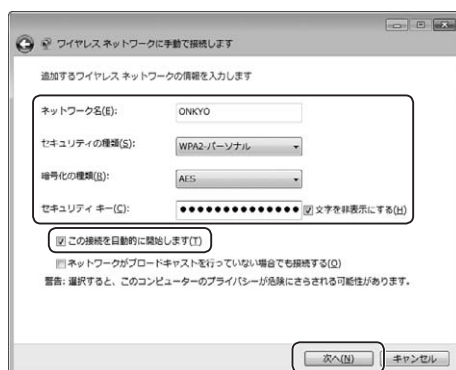
【ネットワークと共有センター】ウィンドウが表示されます。

3. **「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。**

【接続またはネットワークのセットアップ】ダイアログが表示されます。

4. **「接続オプションを選択します」の一覧から「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**

【ワイヤレスネットワークに手動で接続します】ダイアログが表示されます。

5. **「ネットワーク名」、「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」、「セキュリティキー」を設定し、「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れて、[次へ] ボタンをクリックします。**

【正常に（ネットワーク名）を追加しました】ダイアログが表示され、本機がワイヤレスネットワークに接続されます。

6. [閉じる] ボタンをクリックします。

別途、ネットワーク設定が必要な場合があります。

■ ワイヤレスLAN接続を終了する

1. 通知領域に表示されているをクリックします。

ネットワークの一覧が表示されます。

通知領域にが表示されていない場合は、をクリックすると表示されます。

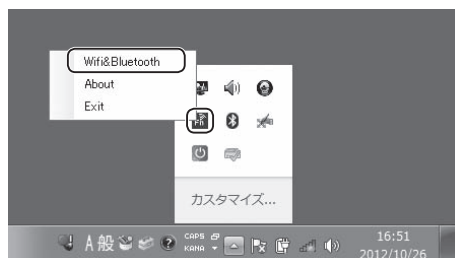
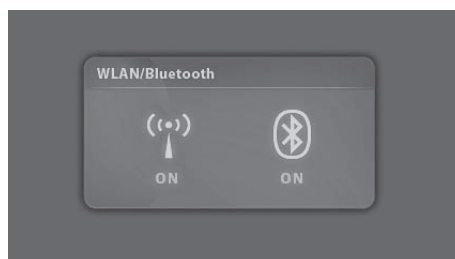
2. 接続しているワイヤレスネットワーク（アクセスポイント）を選択して、[切断] ボタンをクリックします。

本機がワイヤレスネットワークから切断されます。

ワイヤレスLANの機能のON/OFFを切り替える

ワイヤレスLANの機能のON/OFFは、「Control Center」を使用して切り替えます。

1. **通知領域に表示されている(Control Center)をクリックして表示されるメニューから「Wifi&Bluetooth」を選択します。**

通知領域にが表示されていない場合は、をクリックすると表示されます。

2. **中央に表示される画面をクリックするごとに「両方ON」→「Bluetooth OFF」→「Wifi OFF」→「両方OFF」→「両方ON」の順に切り替わります。ワイヤレスLANの機能をONにする場合は「両方ON」または「Bluetooth OFF」を選択し、OFFにする場合は「wifi OFF」または「両方OFF」を選択します。**

- 「Control Center」の「Exit」を選択すると、「Control Center」が終了し通知領域のアイコンが削除されます。ワイヤレスLANのON/OFFの操作はじめ、別売の専用キーボードドックのFnキーとファンクションキーの組み合わせで働く機能が動作しなくなりますので、必要の無い限り「Control Center」を終了しないでください。
- 「Control Center」が終了した状態では、デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックすることで「Control Center」を起動することができます。起動後に通知領域に再びアイコンが表示されます。

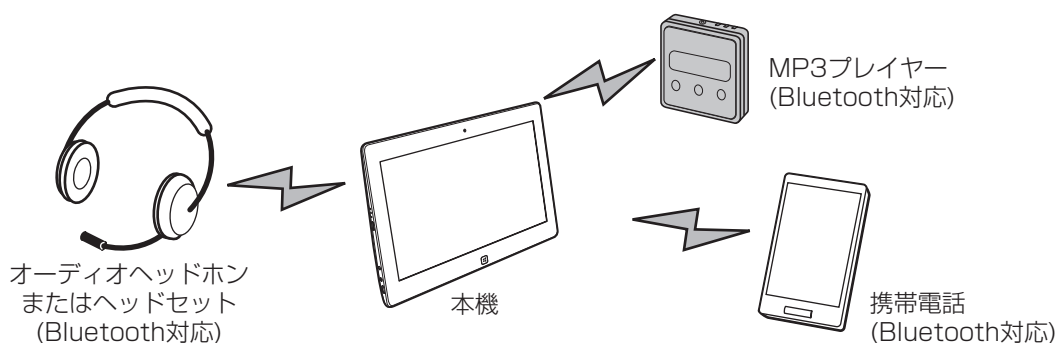
「Control Center」のソフトウェアは削除しないでください。ワイヤレスLANおよびBluetoothの機能のON/OFFの操作ができなくなります。また、別売のキーボードドックからFnキーとファンクションキーを組み合わせて本機を操作できますが、これらの機能も使用できなくなります。

ブルートゥース（Bluetooth）の使用

本機は、Bluetoothの標準規格である「Bluetooth 4.0」および「Bluetooth 3.0+HS」に対応しており、Bluetoothの通信機能を使用できます。ここでは、Bluetoothの基本的な知識と、接続方法を説明します。

Bluetoothとは

Bluetoothを使うと、Bluetoothに対応するパソコンやMP3プレイヤー・携帯電話・ヘッドセットなどの製品間で、ケーブルを使わずに音声やデータの交換ができます。Bluetoothは、2.4GHzの帯域で動作し、半径10～100メートル程度の比較的狭い範囲で通信します。本機のBluetooth機能は、半径10メートル程度の範囲で使用します。
Bluetooth機能を使うには、ペアリングによって接続対象を特定し、双方に同一のパスキーを入力して接続を確立します。

・Bluetooth対応機器は、市販のものをお買い求めください。
・携帯電話やヘッドセットなど、Bluetooth対応機器の操作方法は、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

Bluetoothの接続

Bluetoothの接続方法は、次のとおりです。ここでは例として、別売のBluetooth対応キーボードとの接続を例にとって説明します。

注意

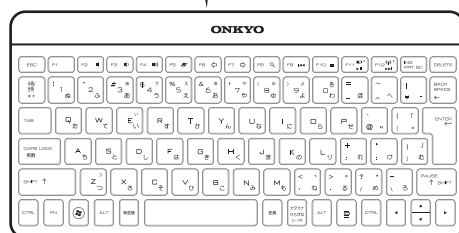
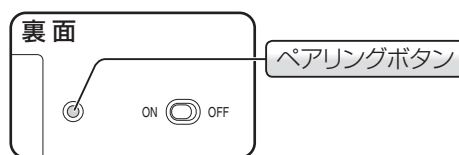
Bluetoothを使わないときは、Bluetoothの機能をOFFにしてください。他の通信機器に障害が発生したり、第三者に不正アクセスされるおそれがあります。

■ ペアリングを設定する

Bluetooth対応の機器同士が接続できる状態にすることを、「ペアリング」と呼びます。一度ペアリングした機器は、再度ペアリングの設定をする必要はありません。
ここでは、ペアリングの設定方法を説明します。

1. Bluetooth機器にあるペアリングボタンを押します。

キーボードがペアリングモードになります。

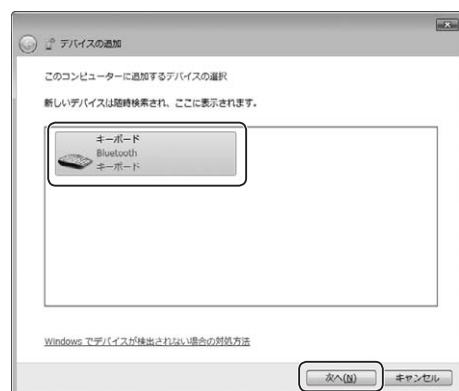
ペアリングモードになると、キーボードのF12キーのLEDが3分間点滅します。

※イラストは、オンキヨー製Bluetooth対応キーボードの例です。

2. 通知領域に表示されている をクリックして、表示されるメニューから「デバイスの追加」をクリックします。

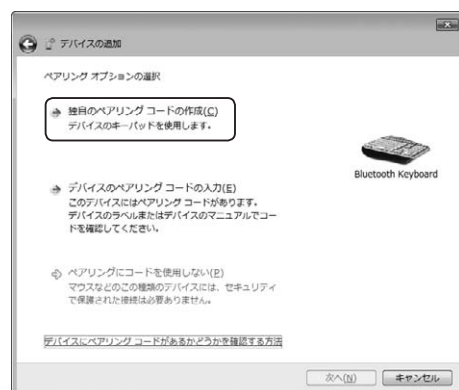
【デバイスの追加】ダイアログが表示されます。

- 通知領域に が表示されていない場合は、 をクリックすると表示されます。
- アイコンが （OFF）の場合は、 を右クリックして、表示されるメニューから「アダプタをオンにする」をクリックすると、Bluetoothの機能が有効になり、アイコンが に変わります。

3. 追加するデバイスを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

【ペアリング オプションの選択】ダイアログが表示されます。

4. 「独自のペアリング コードの作成」をクリックします。

画面にペアリングコードが表示されます。

ペアリングコードの入力が必要のないデバイスと接続する場合は、［ペアリングにコードを使用しない］を選択します。
その場合は、ペアリングコードは表示されません。

5. 接続するデバイスに、画面に表示されたペアリングコードを入力し、Enter キーを押します。

画面に入力枠は表示されません。

しばらくすると、接続の完了を知らせるメッセージが表示されます。
これで接続は完了です。

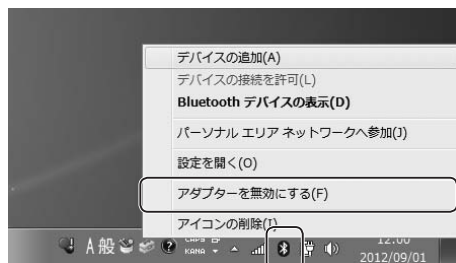
ペアリングをおこなった後でも、起動、再起動、スリープからの復帰後などはBluetooth機器の再認識に10秒程度の時間がかかります。再認識されるまで待ってから、機器を操作してください。

■ Bluetoothの接続をOFFにする

Bluetoothの接続を切断する方法は、次のとおりです。

Bluetoothを使ってデータを送受信しているときは、接続を切断しないでください。データが破損するおそれがあります。

1. 通知領域に表示されている をクリックして、表示されるメニューから「アダプターを無効にする」をクリックします。

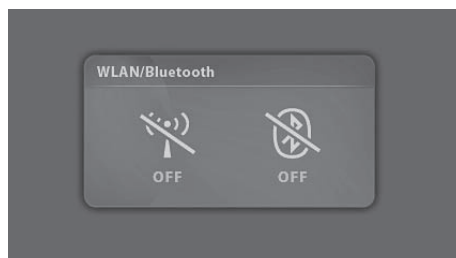
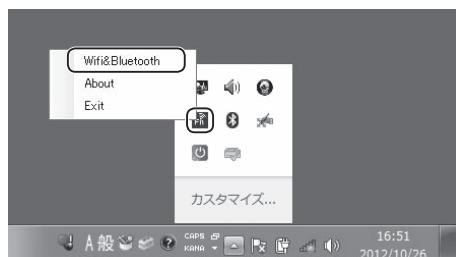
Bluetoothの機能がOFFになります。

飛行機の中など、電波の使用が制限されている場所では、必ずBluetoothの機能をOFFにしてください。

Bluetoothの機能のON/OFFを切り替える

Bluetoothの機能のON/OFFは、「Control Center」を使用して切り替えます。

1. **通知領域に表示されている（Control Center）をクリックして表示されるメニューから「Wifi&Bluetooth」を選択します。**

通知領域にが表示されていない場合は、をクリックすると表示されます。

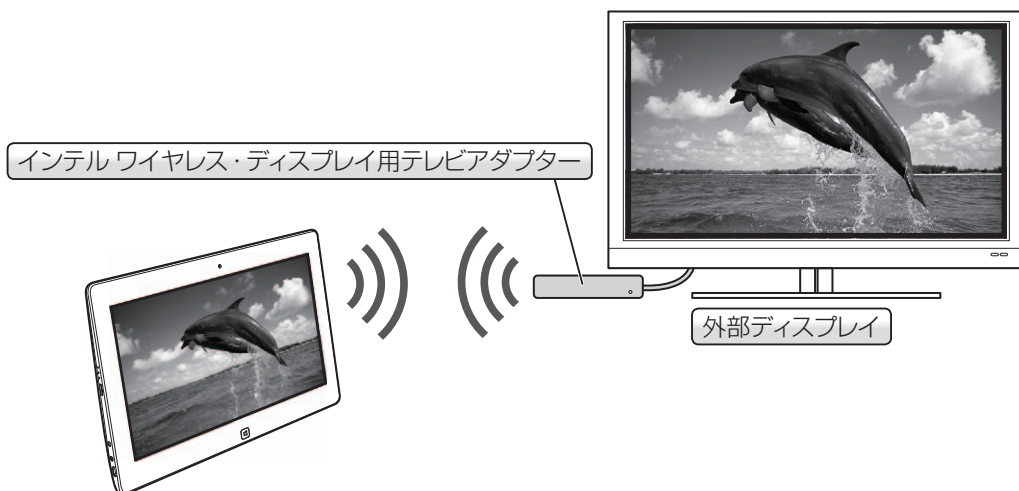
2. **中央に表示される画面をクリックするごとに「両方ON」→「Bluetooth OFF」→「Wifi OFF」→「両方OFF」→「両方ON」の順に切り替わります。Bluetooth機能をONにする場合は「両方ON」または「wifi OFF」を選択し、OFFにする場合は「Bluetooth OFF」または「両方OFF」を選択します。**

・「Control Center」の「Exit」を選択すると、「Control Center」が終了し通知領域のアイコンが削除されます。BluetoothのON/OFFの操作はじめ、別売の専用キーボードドックの[Fn]キーとファンクションキーの組み合わせで働く機能が動作しなくなりますので、必要の無い限り「Control Center」を終了しないでください。
・「Control Center」が終了した状態では、デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックすることで「Control Center」を起動することができます。起動後に通知領域に再びアイコンが表示されます。

「Control Center」のソフトウェアは削除しないでください。ワイヤレスLANおよびBluetoothの機能のON/OFFの操作ができなくなります。また、別売のキーボードドックから[Fn]キーとファンクションキーを組み合わせて本機を操作できますが、これらの機能も使用できなくなります。

Intel WiDiを使う（Intel Core iプロセッサー搭載機種のみ）

Intel WiDiとは、ディスプレイに表示されている内容を、インテル ワイヤレス・ディスプレイ用テレビアダプター（別売）を通じて外部のディスプレイに表示する機能です。

Intel WiDiを使用するには

本機とインテル ワイヤレス・ディスプレイ用テレビアダプターの間はワイヤレスで通信されます。

1. **「インテル ワイヤレス・ディスプレイ用テレビアダプター」（以下アダプター）と外部ディスプレイを接続し、両方の電源をONにします。**

2. **外部ディスプレイに、接続準備が完了した旨のメッセージが表示されたら、本機のデスクトップ上の「Intel WiDi」アイコンをダブルクリックします。**

3. **接続設定用の画面が表示されたら、アダプターのスキャンを実行します。**

4. **接続したアダプター名が表示されますので、接続処理をおこないます。**

5. **外部ディスプレイに、セキュリティコードが表示されますので、画面の指示に従って設定をおこないます。**

表示はクローンモード（複製）です。「Intel WiDi Wedget」に対応しているアダプターであれば付属のソフトウェアで表示を切り替えできます。

画面表示をクローンモード（複製）にした時など、本機のディスプレイに表示されている映像と、外部ディスプレイに表示されている映像でわずかな表示の時間差が発生します。これは本機のディスプレイの映像より、電波を使った映像表示に時間がかかるためで不具合ではありません。

お使いになる上での注意

本機は保護されたコンテンツ（DVD-Video、地デジ番組を録画したCPRMディスク）の映像および音声の再生に対応しており、再生には以下の条件が必要です。

・別途ご用意いただくアダプターが保護されたコンテンツの映像および音声の再生に対応している必要があります。
・アダプターと再生ディスプレイとの接続にはHDMI接続が必須の場合があります。
（別途ご用意いただくアダプターの仕様に準じます）
・HDMI入力端子のあるパソコン用ディスプレイ、テレビでの接続が可能ですが、解像度の低いものでは再生ができないことがあります。

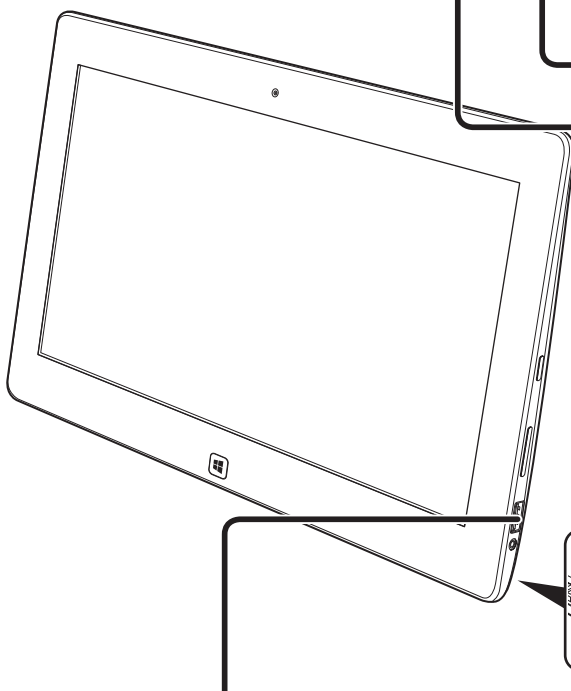
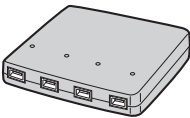
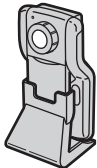
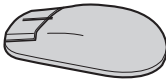
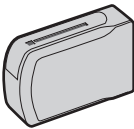
周辺機器の接続

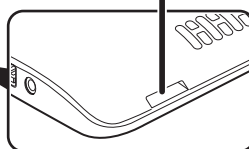
本機には、さまざまな周辺機器が接続できます。

ヘッドホン端子/モノラルマイク入力端子

・ヘッドフォン
・マイクロフォン
・ヘッドセット
（☞39ページ）

HDMI　ミニHDMIポート

HDMI対応のディスプレイ
（☞43ページ）

microSDカードスロット

microSDカード
（☞41～42ページ）

USB3.0ポート

USB3.0/2.0/1.1対応の周辺機器（☞40ページ）

・カードリーダー/ライター　・USB対応マウス　・CCDカメラ　・USBハブ　など

周辺機器を使用するには

周辺機器を取り付ける前に、まず確認したり、周辺機器を作業しなければならないことを説明します。

電源をOFFにする

ケーブル類や、周辺機器を取り付けるときは、本機の電源をOFFにし、ACアダプターをACコンセントから取り外します。

注 意

ACアダプターが接続されたまま周辺機器を取り付けると、本機を壊したり、感電する恐れがあります。

・次の機器は、パソコンの電源をONにしたまま、取り付けや取り外しができます。
　・USB対応の機器　　　　　　　　・HDMI対応の機器
　・microSDカード　　　　　　　　・microSDHCカード
　・ヘッドホン、マイクロフォン、ヘッドセットなど

1. **本機の電源をOFFにします。**

「電源のOFF」（☞12ページ）

2. **本機の電源ケーブルを、コンセントから取り外します。**

3. **周辺機器を取り付けます。**

取り付け時の注意事項

■ 体の静電気を取り除いてください

基板がむき出しになっているモジュールなどは、静電気に弱く、帯電した手で触ると壊れてしまう恐れがあります。ドアのノブなど、身近な金属に触れて、体に帯電している静電気を取り除いてから、これらの機器を取り付けてください。

■ ユーザーズガイドをよく読んでください

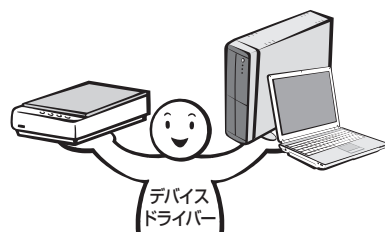
周辺機器などは、取り外しや取り付けを間違うと、機器を壊してしまう恐れがあります。
本書をよく読んでから、周辺機器を取り付けてください。

■ 周辺機器に付属のマニュアルをよく読んでください

周辺機器に付属のマニュアルには、取り付け方法や、取り付けたあとに必要となるソフトウェアやハードウェアの設定方法が詳しく書かれています。
周辺機器のマニュアルをよく読み、必要な機器、および必要な設定ファイル（デバイスドライバーなど）を理解し、これから始める接続作業に備えてから、周辺機器を取り付けてください。

プラグアンドプレイについて

Windowsには、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使用できる状態に設定する「プラグアンドプレイ」という機能があります。プラグアンドプレイを実現するには、周辺機器に対応したデバイスドライバーがWindows側で用意されている必要があります。
用意されていない場合は、Windowsのウィザード機能を使って、デバイスドライバーをWindowsにインストールします。

周辺機器を使うときは、「デバイスドライバー」と呼ばれる周辺機器をコントロールするソフトウェアが必要です。
デバイスドライバーは、あらかじめ本機のWindows側で用意されている場合と、周辺機器に付属している場合（CD-ROMディスクなどで提供されています）があります。周辺機器メーカーのWebサイトから入手することもできます。

■ デバイスドライバーがWindowsにある場合

周辺機器に対応したデバイスドライバーが、すでにWindows側で用意されている場合は、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使える状態になります。

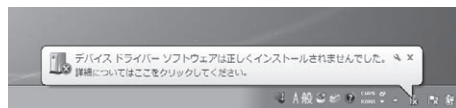
1. **周辺機器を取り付けたあとに、電源をONにします。**

デスクトップ画面右下のタスクバーに、「デバイスを使用する準備ができました」と吹き出しが表示されます。
これで、周辺機器が使えるようになります。

プラグアンドプレイに対応した周辺機器でも、設定が自動でおこなわれない場合があります。

■ デバイスドライバーがWindowsにない場合

周辺機器を取り付けたあとに電源をONにすると、デスクトップ画面右下のタスクバーに、デバイスドライバーのインストールが失敗したことをあらわす吹き出しが表示されます。

周辺機器に付属のマニュアルをお読みのうえ、デバイスドライバーをインストールしてください。
通常、デバイスドライバーは次の方法で配布されています。
・周辺機器に付属のCDに収録
・周辺機器の製造元がWebサイトで公開

プラグアンドプレイに対応していない周辺機器の場合、デバイスドライバーの組み込みや、リソースの設定を自分でおこなう必要があります。また、周辺機器側のディップスイッチなどを変更する必要があります。
詳細は、お使いの周辺機器メーカーへお問い合わせください。

AV機器との接続

本製品と接続できるAV機器の紹介と接続方法を説明します。

ヘッドホンと接続する

市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホン端子/モノラルマイク入力端子（4極ミニジャックOMTP準拠）に接続すると、スピーカーから音声を出力せずに、ヘッドホンから出力できます。

ヘッドホンはミニピンプラグ付きヘッドホンを、電器店などでお求めください。

一般的なヘッドフォン（3極）を使用する場合

内蔵マイクの設定をONにする必要があります。初期設定ではONになっています。
通知領域にある「Realtek HD オーディオマネージャ」を起動し、「デバイス詳細設定」→「すべての入力ジャックを独立した入力デバイスとして分離します。」を選択します。その後、「マイク」タブにある「デフォルトのデバイスの設定」をクリックします。

マイク付きヘッドフォン（4極）を使う場合

マイク付きヘッドフォン（4極）の端子は、マイクとヘッドフォンの端子が1つに統合され、2つに分かれていません。この場合は、内蔵マイクの設定をOFFにします。
通知領域にある「Realtek HD オーディオマネージャ」を起動し、「デバイス詳細設定」→「同型の入力ジャック、つまりライン入力またはマイクを1つの入力デバイスとして統合します。」を選択します。

・ヘッドホンは、市販の3極ミニジャックタイプのものをご使用いただけます。
・外部マイクをご使用する場合は、OMTP準拠の4極ミニジャック（Xperia用等）のヘッドセットがご使用できます。iPhone対応の物はご使用できません。
・ヘッドホン／マイク共用端子の為、単品の外部マイクはご使用できません。
・すべてのヘッドホン・ヘッドセットに対応するものではありません。

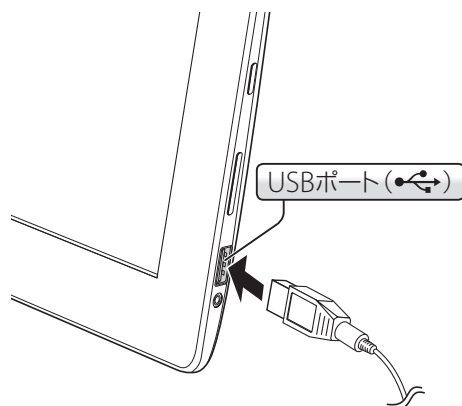
USB対応機器の使用

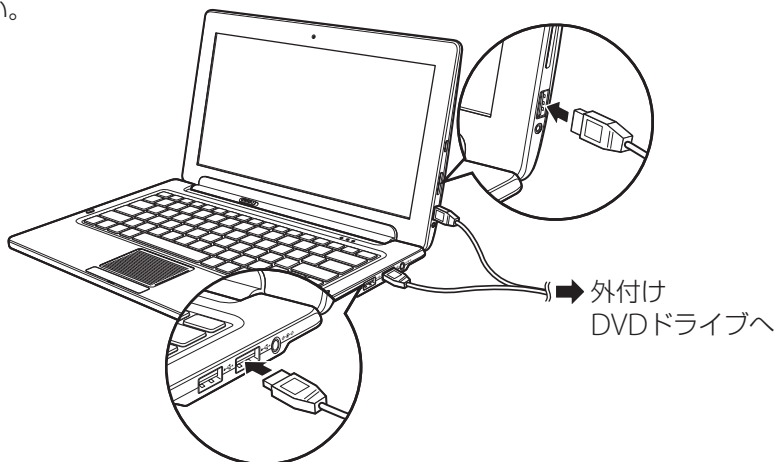
USBポートには、さまざまなUSB機器を接続して利用することができます。ここでは、本機の電源をONにした状態で、USB対応の周辺機器を接続する方法について説明します。

接続時の注意事項

・接続前に、デバイスドライバーのインストールが必要なUSB機器があります。
・ケーブルには差し込む向きがあります。無理に差し込もうとしないで、方向を確認して正しく差し込んでください。
・USBポートの数が足りないときは、市販のUSBハブを接続して、USBポートの数を増やすことができます。

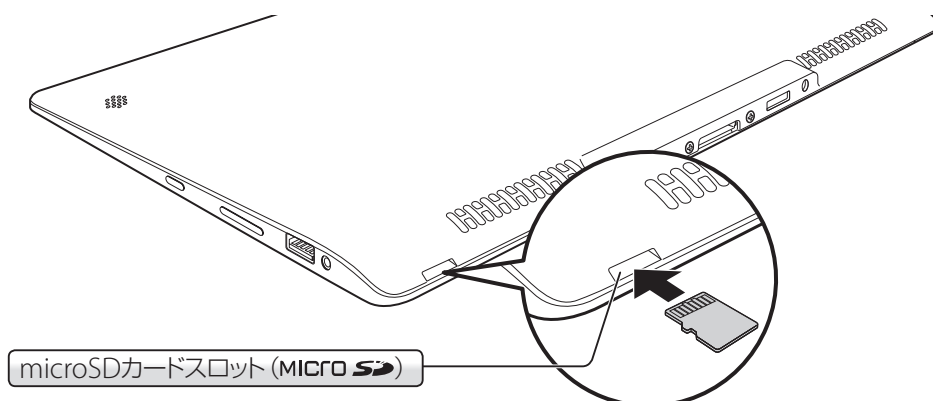
1. **本機のUSBポート（ ）に、USB機器のケーブルを差し込みます。**

しばらく待つと、デスクトップ画面右下のタスクバーに、「デバイスを使用する準備ができました」と吹き出しが表示されます。これで、USB機器が使えるようになります。
接続したUSB機器によっては、このあと、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。

・表示されないときは、USBポートからコネクターを一度抜き、3秒以上時間をおいてから、再度差し込んでみてください。
・USB機器に、Windows 7対応のデバイスドライバーが付属されていない場合、USB機器をWindows 7で使うための専用デバイスドライバーが別途必要になります。
・次回からはUSBポートに接続するだけで、すぐに使用できます。

・本製品のUSBポートに、外付けDVDドライブを接続してご使用になる際は、ACアダプターが付属されているものを使用してください。USBバスパワーによる電源供給のみの外付けDVDドライブでは使用できない場合があります。
・USBバスパワーによる電源供給のみの外付けDVDドライブを使用する場合は、オプション（別売）の専用キーボードドック（型番:PDS3A-AB35DK）、または専用クレードル（型番：PDS3A-AB35DW）が必要となります。外付けDVDドライブと接続された二股に分岐されているUSBケーブルを、本製品と専用キーボードドックまたは専用クレードルのUSBポートに1本づつ接続してご使用ください。

microSDカードの使用

本機にはmicroSDカードを読み書きするスロットがあります。
メモリーカードを使用すると、画像ファイルなどのファイルデータの読み出し・書き込みができます。

microSDカードの差し込み方向

microSDカードの差し込み方向は、次のとおりです。
microSDカードのラベルの向きや切り欠きの位置を確認して、正しく差し込んでください。

microSDカードの差し込み

microSDカードを差し込み、使用するまでの手順を説明します。

ここでは、メモリーカードに「SD」という名前（ボリュームラベル）が付いていることを前提に、手順を説明します。

1. 差し込む向きを確認して、本機のmicroSDカードスロットにmicroSDカードを確実に差し込みます。

しばらくするとmicroSDカードが本機に認識され、ダイアログが表示されます。

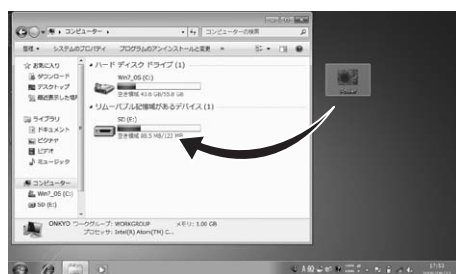
microSDカードには、差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。

2. 実行させたい動作をクリックします。

表示されるダイアログは、メモリーカードに入っているファイルによって異なります。

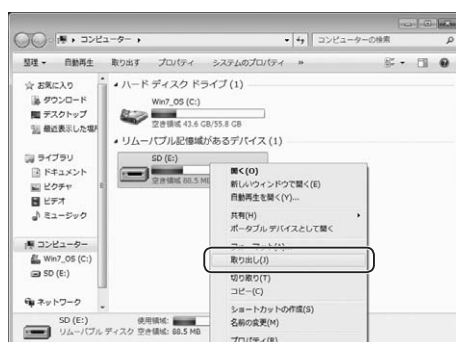
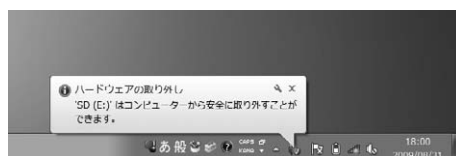
これらの動作を実行させたくない場合は、ダイアログを閉じます。

■ ファイルをコピーする

正しく認識されたメモリーカードのアイコンに、ほかのディスクからファイルをドラッグアンドドロップすると、メモリーカードにデータをコピーできます。

microSDカードの取り出し

microSDカードの取り外しの手順は次のとおりです。

1. **メモリーカードの動作が終了していること（データの読み書きがおこなわれていない状態）を確認し、[スタート] ボタン→ [コンピューター] を開き、メモリーカードドライブを右クリックして表示されるメニューから、[取り出し] を選択します。**

メモリーカードドライブのアイコンが消えます。

2. **メモリーカードドライブのアイコンが消え、「コンピューターから安全に取り外すことができます。」というポップアップメッセージが表示されたことを確認した後、microSDカードを取り出します。**

microSDカードをWindows上で使用している間は、メモリーカードを取り出さないでください。microSDカードスロットの故障や、データが破損する恐れがあります。

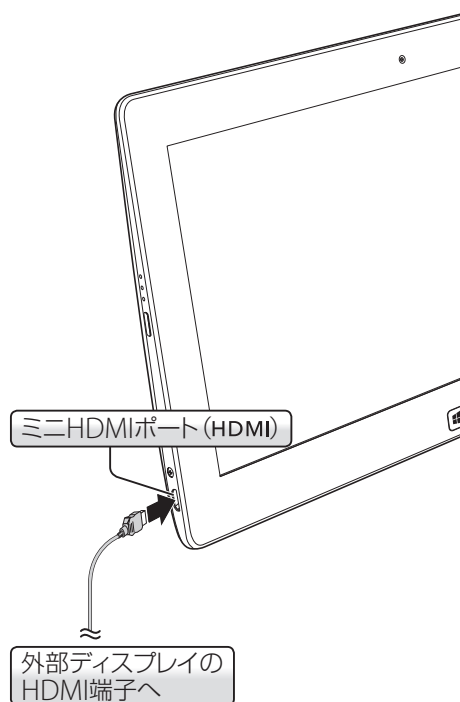
外部ディスプレイの接続

本機には、HDMI端子を持つ外部ディスプレイを接続するためのコネクターが装備されています。

外部ディスプレイの接続

外部ディスプレイと接続する手順を説明します。
外部ディスプレイを接続後、自動的に外部ディスプレイに映像が表示されます。

本機のディスプレイと同じ画面を表示させるクローン表示以外に、拡張表示が選択できます。拡張表示の切り替えは、デスクトップ上で右クリック（長押し）で表示されるメニューから［画面の解像度］を選択し、表示される画面から設定します。本機のディスプレイおよび外部ディスプレイそれぞれに最適の解像度が選択できます。

1. **本機のミニHDMIポートと外部ディスプレイのHDMI端子を、市販のHDMI－HDMI-Miniケーブルで接続します。**

・画面に表示される解像度の上限は本機のディスプレイの表示解像度相当となります。たとえば、本機の表示解像度が1280×800であれば、外部ディスプレイの表示解像度も1280×800相当の表示画面になります。
・HDMI対応のディスプレイやテレビと接続する場合、本機およびディスプレイ（テレビ等）にスピーカーケーブルを接続する必要はありません。ミニHDMIポートにHDMI信号ケーブルを接続したままスピーカーケーブルを接続すると、音声が出なくなる場合があります。

内蔵カメラの切り替え

バックカメラとフロントカメラの切り替えは、付属のWebカメラ操作ソフト「Youcam 3」で対象となるカメラを選択します。バックカメラで撮影するときは「Mercury USB2.0 Camera」を、フロントカメラのときは「USB Camera」を選択します。

1. **［スタート］ボタン→「すべてプログラム」→「CyberLink YouCam」→「CyberLink YouCam」を選択します。**

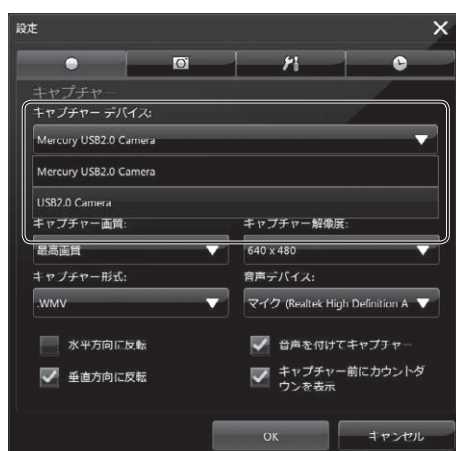
「Youcam 3」が起動します。

2. **［Youcam設定の構成］ボタンをクリックします。**

【設定】ダイアログが表示されます。

3. **「キャプチャデバイス」の「Mercury USB2.0 Camera」をクリックして表示される一覧から、「USB Camera」を選んで［OK］ボタンをクリックします。**

カメラがフロントカメラ（USB Camera）に切り替わります。
バックカメラに切り替えるには、再度、「Mercury USB2.0 Camera」を選択します。

初期設定では、「Mercury USB2.0 Camera」（バックカメラ）が選択されています。

おかしいなと思ったら

本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください
トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態で1分くらい放置してください。すぐに電源を切ったり、むやみにタッチパネルをたたいたり、マウスのボタンを押したり、キーボードのキーをたたいたりしないでください。

1 本書で該当する項目を探しましょう

☞「よくある質問集」（48ページ）
パソコンの電源がONにならないなどの「故障かな」と思うような問題が発生した場合に、まずは確認してください。

2 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

☞「パソコンで調べる」（46～47ページ）
本書以外にも、当社Webサイト「オンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフト サポート オンライン」に、トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。Windows 7およびアプリケーションソフトのヘルプも活用してください。

3 パソコンを購入時の状態に戻しましょう

☞「リカバリーの準備」（54～70ページ）、「リカバリーの方法」（71ページ）
本機をご購入時の状態に戻します。（この作業をリカバリーといいます）
リカバリーの前に、必要なデータや設定情報のバックアップを取ってください。

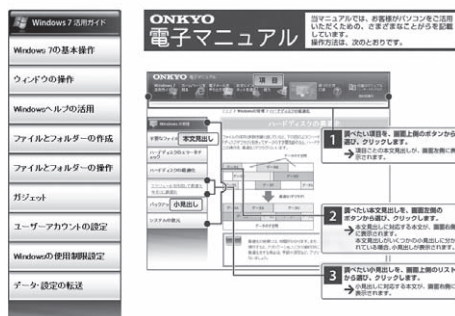
4 オンキヨーPCカスタマーセンターに連絡しましょう

以上の方法でどうしても解決できないときは、オンキヨーPCカスタマーセンターに連絡してください。
お電話の前に、セットアップガイドの「修理のお申込み」などをよくお読みになり、注意事項などを確認してください。

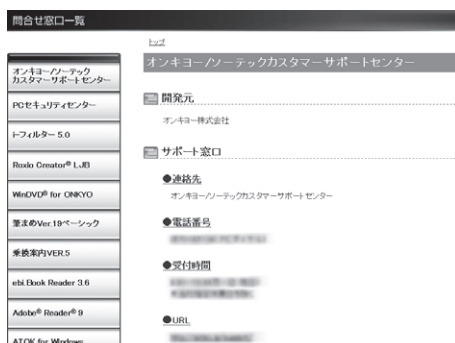
パソコンで調べる

本書以外にも、次のWebサイトおよびヘルプをご参照ください。トラブル解決のための情報が提供されています。

■ ONKYO電子マニュアル
（デスクトップ画面上の［ONKYO電子マニュアル］アイコンをダブルクリック）

本機のマルチメディア機能の活用方法、およびWindows 7やインターネットの便利な使いかたを図解付きで説明しています。トラブルの解決方法および予防方法も説明しています。

■ ONKYO問合せ窓口一覧
（デスクトップ画面上の［ONKYO問合せ窓口一覧］アイコンをダブルクリック）

ONKYOへの問い合わせ先、および各種アプリケーションソフトの問合せ先を掲載しています。

■ マイクロソフト サポート オンライン
（http://support.microsoft.com/）

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebサイトからダウンロードできます。

■ オンキヨーPCオンラインサポート
（http://pc-support.jp.onkyo.com/）

弊社製品の仕様の公開や、オンキヨーPCカスタマーセンターに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバーおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。

■ ヘルプとサポート
（[スタート] ボタン→ [ヘルプとサポート]）

Windowsおよび本機に関して、知っておくと有用な情報を掲載しています。Windowsのトラブルシューティングおよびチュートリアルも利用できます。

よくある質問集

本機の電源をONにしても、Windowsが正しく起動しないとき、まずはここに記載している項目を確認してください。
Windows起動後のトラブルについては、ONKYO電子マニュアルで解決方法を確認してください。

1 パソコンの電源はONになりますか?

●ONになりません（☞49ページ）

ONになります

2 Windowsは起動しますか?

●セーフモードで起動します（☞50ページ）
●起動しません（☞49～50ページ）

正常に起動します

3 Windowsの画面は表示されますか?

●表示されますが、正常ではありません（☞51～52ページ）
●セーフモードで表示されます（☞50ページ）

正常に表示されます

4 マウス・キーボードは正常ですか?

●正常ではありません（☞52～53ページ）

正常に動作します

その他、Windowsの操作中におこるトラブルや質問は、ONKYO電子マニュアル（☞2ページ）を起動して調べてください。

パソコンを起動する前に

Q.1 海外のコンセントに接続して使用できるか

A. ・AC電源が100V～240Vまでの間であれば使用できます（プラグの形状が異なる場合、変換プラグが必要）。
ただし、日本国外で本機を使用される場合は、サポート対象外となります。

Q.2 電源スイッチを押しても動かない

A ・ACアダプターは正しく接続されていますか？
ACアダプターのプラグが本機と正しく接続されているか、ACアダプターの電源プラグが電源コンセントに正しく接続されているかをご確認ください。

・バッテリーは十分に充電されていますか？
ACアダプターを接続して、バッテリーを充電してからご使用ください。

・ACアダプターが故障している可能性があります。
他の電気製品を本機が接続されている電源コンセントに接続して、他の電気製品が動くかどうかご確認ください。他の電気製品が正常に動くようであれば、ACアダプターが故障している可能性があります。オンキヨーPCカスタマーセンターへお問い合せください。

・本機が故障していることがあります。
オンキヨーPCカスタマーセンターへお問い合せください。

Q.3 画面に何も表示されない

A ・本機の電源はONになっていますか？
本機の電源スイッチをONにしてください。

・起動およびスリープ/休止状態からの復帰に、時間がかかっている可能性があります。
復帰するまで、しばらくお待ちください。

Q.4 パソコンの電源をONにしたところ、黒い画面に英語の文字が表示され、Windowsが起動しない

A ・パソコンのシステムが不安定になっている可能性があります。
リカバリー(☞71ページ) を試してください。
ただし、リカバリーを実行すると、Windowsが工場出荷時の初期状態に戻り、お客様がハードディスクに保存されたデータはすべて消去されてしまいます。
一部のアプリケーションについては、個別にインストールしていただく必要があります。

・これで回復できない場合は、ケーブルとハードディスクの物理的な接触不良の可能性もありますので、オンキヨーPCカスタマーセンターまでお問い合わせください。

Q.5 パソコンを起動したところ、「セーフモード」という文字が画面に表示され、通常よりも低い解像度で起動している

A ・この状態は誤動作ではなく、「セーフモード」というWindowsを正常な状態に戻すための診断モードです。
セーフモードで起動した場合、ドライバーや周辺機器との接続に問題があるか、何かの設定が壊れているかなどの原因が考えられます。セーフモードは、不具合の原因がどこにあるかを調べて、それを解消するための診断モードです。不具合がどこにあるかを調べるための最低限の操作のみをおこなうよう設定されています。

問題解決後(自動修復含む)、再起動すると通常どおりWindowsが起動します。

Q.6 周辺機器を取り付けたらWindowsが起動しない

A ・周辺機器のデバイスドライバーが原因で、Windowsが起動できなくなった可能性があります。
「セーフモード」でWindowsを起動して、トラブルの原因と思われるデバイスドライバーを無効にしてください。この方法でWindowsが正常に起動した場合、正しいデバイスドライバーをインストールするか、デバイスドライバー自体を削除する必要があります。
「セーフモード」でデバイスを無効にするには、次の操作に従って設定してください。
セーフモードでWindowsを起動させるには、別売のUSB対応キーボードを接続する必要があります。

①本機の電源をONにして、「ONKYO」ロゴが表示されている間に[F8]キーを押します。
②[詳細ブートオプション]が表示されるので、「セーフモード」をキーボードで選択してください。
③ユーザー名を選択してください。セーフモードでWindowsが起動します。
④[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]を選択して、「システム」欄の[デバイスマネージャー]をクリックします。
⑤【デバイスマネージャー】ダイアログを表示させ、追加した周辺機器の項目をダブルクリックして表示される【プロパティ】ダイアログで[ドライバー]タブをクリックしてください。
⑥[無効]ボタンをクリックし、[はい]をクリックしてから、[OK]ボタンをクリックしてください。

Windowsを再起動すると、通常モードでWindowsが起動します。

・この方法でもWindowsが起動しない場合、本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。

Q.7 終了できない

A ・電源スイッチを6秒以上押すことで、電源を切ることができます。

画面上のトラブル

Q.8 表示される日付や時刻が正しくない

A. ・日付や時刻が間違った設定になっていませんか？
Windowsのタスクバーの時刻をクリック→「日付と時刻の設定の変更」→［日付と時刻の変更］ボタンをクリックして【日付と時刻の設定】ダイアログを起動します。
【日付と時刻の設定】ダイアログで正しい日付や時刻を設定してください。

・本機に内蔵されている電池が切れている可能性があります。
マザーボードに取り付けられているリチウム電池の寿命は、平均2〜3年です。本機の使用期間が2〜3年経過していたら、オンキヨーPCカスタマーセンターに修理依頼をおこなってください。

Q.9 日付の設定を変更しても元に戻ってしまう

A. ・電池が容量切れになっている可能性があります。
日付設定などのバックアップ電源として内蔵電池を使用しています。この内蔵電池が容量不足になると、日付設定などのデータ保持ができなくなります。
電池は消耗品ですので、寿命があります。寿命についてはお客様のご使用状況により大きく異なりますが、平均2〜3年です。本機の使用期間が2〜3年経過していたら、オンキヨーPCカスタマーセンターに修理依頼をおこなってください。

■ ディスプレイのトラブル

Q.10 いきなり画面が消えた

A. ・ディスプレイの電源が切れた可能性があります。
本機をしばらく操作せずにいると、画面表示が消える設定になっております。ディスプレイをクリックしたり、マウスやキーボードを動かしてください。

・スリープまたは休止状態に入った可能性があります。
画面表示が消えた後、さらに時間が経過すると、スリープモード（☞17ページ）になります。スリープから復帰させるには、電源スイッチを押してください。

・ACアダプターのプラグが電源コンセントから外れていませんか？
コンセントまたはプラグを差し込みなおしてください。

・バッテリーが充電されていない可能性があります。
バッテリーを十分に充電してください。

Q.11 画面表示にムラがある

A. ・ディスプレイにムラがあるのは故障ではありません。
液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。むらがあるのは故障ではありません。

■ マウス、キーボードのトラブル（別売のUSB対応マウス、USB対応キーボードを接続した場合）

Q.12 マウスポインターが動作しない

A. ・市販のマウスやキーボードを接続した場合、接続ケーブルが外れている可能性があります。
接続ケーブルを正しく接続してください。それでも動かない場合は、本機を再起動してください。

・市販のマウスやキーボードを接続した場合、本機の電源をONにしたあとにマウスを接続している可能性があります。
一度パソコンの電源をOFFにしてマウスを接続した後、パソコンの電源をONにしてください。

・適正なマウスドライバーを使用していない可能性があります。
市販のマウスを使用する場合は、専用のマウスドライバーが必要なものがあります。使用するマウスに付属のマウスドライバーを正しくインストールしてください。

Q.13 デバイスマネージャー上で日本語106（109）キーボードが、英語101（102）キーボードと表示されてしまう

A. ・この現象は、Windows 7のシステムがプラグアンドプレイでキーボードを認識する際に、英語101/102キーボードが指定されているために発生します。
回避策として、次の方法を試してください。デバイスマネージャーから、次の手順で日本語106/109キーボードに変更します。

①［スタート］ボタン→［コントロールパネル］→［コンピューターの簡単操作］→［キーボードの動作の変更］を選択して【キーボードを使いやすくします】ダイアログを表示します。
②ダイアログ下部の「キーボード設定」をクリックして、【キーボードのプロパティ】ダイアログを表示します。
③［ハードウェア］タブを選択し「101/102英語キーボード」の項目をダブルクリックします。
④［設定の変更］ボタンをクリックします。
⑤［ドライバー］タブを選択し、［ドライバーの更新］を選択します。
⑥「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。
⑦「コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します」を選択します。
⑧「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外します。
⑨「モデル」欄から「標準PS/2キーボード」を選択して、［次へ］ボタンをクリックしてください。
⑩［閉じる］ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

Q.14 押したキーと違う文字が表示される

A. ・CapsLock、ひらがな/カタカナなどが間違って押されていませんか？
目的の文字がタイプされるようにCapsLock、ひらがな/カタカナキーを押してください。

・キーボードのドライバーは適正なものですか？
キーボードのドライバーがお使いのキーボードに対応したものではない可能性があります。キーボードのドライバーを更新してください。

リカバリーの準備

使用していたデータや設定内容をバックアップして、リカバリー後に同じ環境で使えるようにします。

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスク（またはSSD）の内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスク（またはSSD）のデータを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

本書では、リカバリーの実行前に、個人で作成したデータをバックアップする方法と、リカバリー後にバックアップしたデータを復元する方法を説明します。リカバリーの実行方法については、71ページをご参照ください。

データのバックアップ

ここでは、Internet Explorerや電子メールの設定などのデータを、外部メディアにバックアップする方法を説明しています。

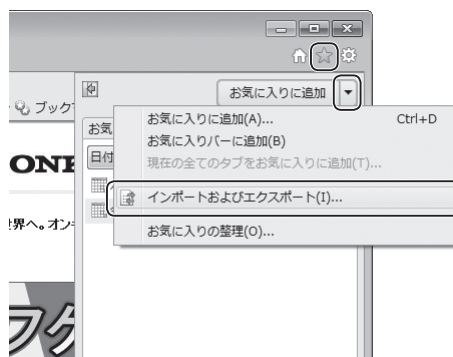
お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。

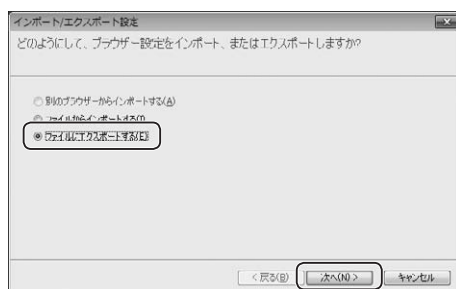
電子メールのデータのバックアップについては、「Windows Liveメール」での方法を説明しています。その他のメーラーをご使用の場合、バックアップ方法はメーラーの取扱説明書などをご参照ください。

■『お気に入り』のバックアップ

Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップを作成します。

1. Internet Explorerが起動した状態で、☆ボタンをクリックし、お気に入りに追加▼の▼をクリックして表示されるメニューから［インポートおよびエクスポート］を選択します。

【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。

2. **［ファイルにエクスポートする］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

【何をエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。

3. **［お気に入り］をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

【お気に入りのエクスポート元フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。

「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをエクスポートできます。

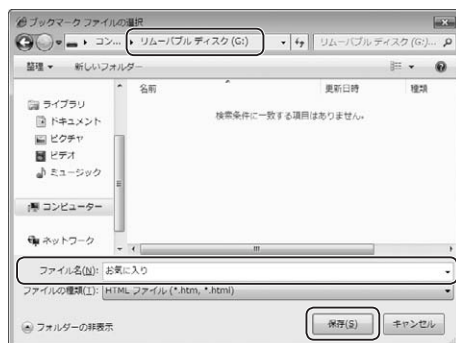
4. **「お気に入り」フォルダーを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログが表示されます。

5. **［参照］ボタンをクリックします。**

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

6. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、［保存］ボタンをクリックします。**

【どこにお気に入りをエクスポートしますか？】ダイアログに戻ります。

7. **［エクスポート］ボタンをクリックします。**

手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、［次へ］ボタンをクリックしてください。
表示される画面の設定方法は、手順5～6と同じです。

終了すると、【これらの設定を正しくエクスポートしました】ダイアログが表示されます。

8. **［完了］ボタンをクリックします。**

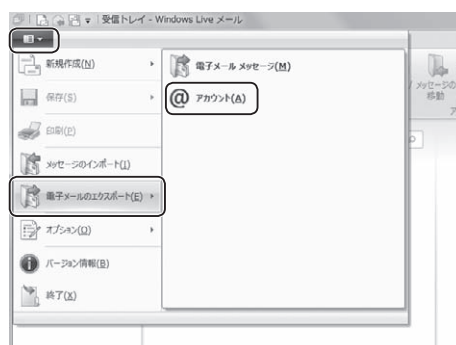
以上で『お気に入り』のバックアップは完了です。

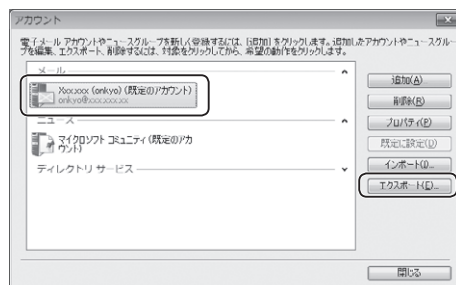
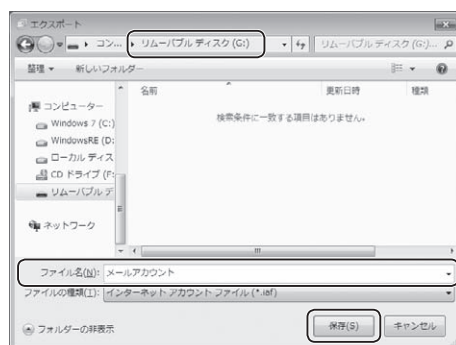
■ メールアカウントのバックアップ

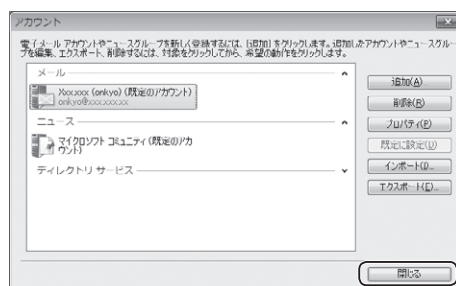
Windows Liveメールで設定している、メールアカウントのバックアップを作成します。

複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. **ボタン→［電子メールのエクスポート］→［アカウント］を選択します。**

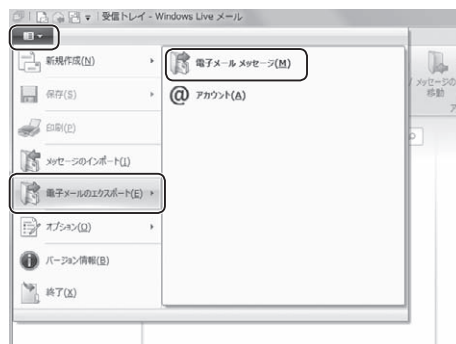
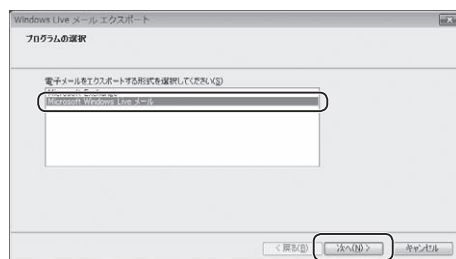
【アカウント】ダイアログが表示されます。

2. **「メール」欄のアカウントを選択し、［エクスポート］ボタンをクリックします。**

【エクスポート】ダイアログが表示されます。

3. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。**
【アカウント】ダイアログに戻ります。

4. **[閉じる] ボタンをクリックします。**

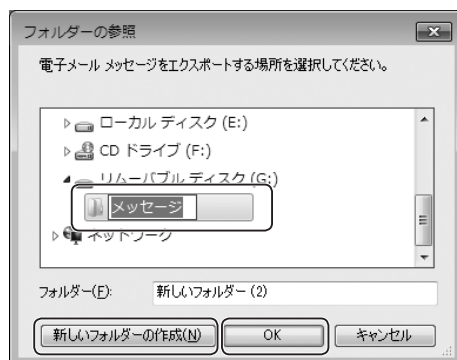
以上でメールアカウントのバックアップは完了です。

■ メッセージのバックアップ

Windows Liveメールで送受信した、メッセージのバックアップを作成します。

複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. **ボタン→ [電子メールのエクスポート] → [電子メール メッセージ] を選択します。**
【プログラムの選択】ダイアログが表示されます。

2. **一覧から [Microsoft Windows Liveメール] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**
【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。

3. **［参照］ボタンをクリックします。**

【電子メール メッセージをエクスポートする場所を選択してください。】ダイアログが表示されます。

4. **外部記憶メディアを選択し、［新しいフォルダーの作成］ボタンをクリックして、任意の名前でフォルダーを作成します。**

5. **作成したフォルダーを選択して、［OK］ボタンをクリックします。**

【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。

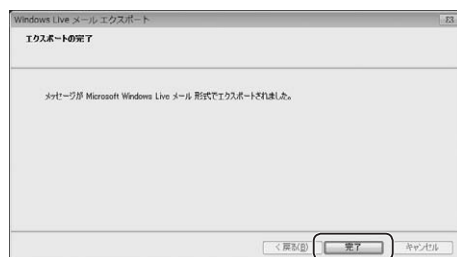
6. **［次へ］ボタンをクリックします。**

【フォルダーの選択】ダイアログが表示されます。

7. **［すべてのフォルダー］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

メッセージのエクスポートが開始されます。
終了すると【エクスポートの完了】ダイアログが表示されます。

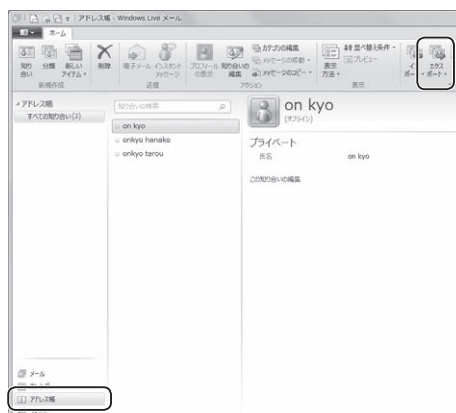
8. **［完了］ボタンをクリックします。**

以上でメッセージのバックアップ作成は完了です。

■ アドレス帳のバックアップ

Windows Liveメールで登録した、アドレス帳のバックアップを作成します。

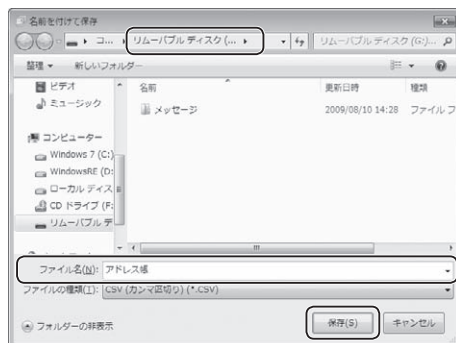
複数のユーザーでWindows 7を使用している場合は、ユーザーのアカウントごとにバックアップを作成してください。

1. **［アドレス帳］をクリックし、［エクスポート］→［カンマ区切り］を選択します。**

【CSVのエクスポート】ダイアログが表示されます。

2. **［参照］ボタンをクリックします。**

【名前を付けて保存】ダイアログが表示されます。

3. **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、［保存］ボタンをクリックします。**

【CSVのエクスポート】ダイアログに戻ります。

4. **［次へ］ボタンをクリックします。**

【エクスポートするフィールドを選択してください】ダイアログが表示されます。

5. **エクスポートするフィールド（項目）にチェックをいれて、[完了] ボタンをクリックします。**

アドレス帳のエクスポートが開始されます。

エクスポートするフィールドを任意で選択することができます。
通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま [完了] ボタンをクリックしてください。

■ ユーザー辞書のバックアップ

現在使用しているユーザー辞書は、次の手順でバックアップを作成します。

1. **[スタート] ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] の順に選択します。**

【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2. **[名前] 欄に [C：¥Users¥＊＊＊＊＊¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10] と入力して、[OK] ボタンをクリックします。**

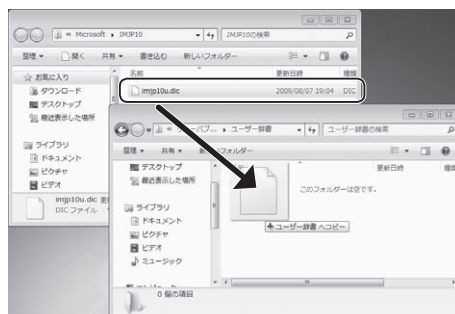
（＊＊＊＊＊には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。　例：「ONKYO」など）

【IMJP10】ウィンドウが表示されます。

- ユーザー辞書の保存先をほかの任意のフォルダーへ変更している場合は、変更先のフォルダーを開きます。
- ユーザー辞書の保存先は下記の方法で確認することができます。
  言語バーのボタンをクリックして、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。
  [辞書/学習] タブをクリックし、画面中段の [辞書名] に表示されているのが、ユーザー辞書の保存先です。

3. **［imjp10u］ファイルを、異なる任意のファイル名で外部記憶メディアに保存します。**

ファイル名は必ず変更してください。

以上でユーザー辞書のバックアップ作成は完了です。

- **お客様がデスクトップや「ドキュメント」フォルダーに保存したデータについては、あらかじめ外部メディアに保存しておいてください。**
- 以上のバックアップが終了すれば、リカバリーをおこなってください。リカバリーの方法は、71ページをご参照ください。

データの復元

ここでは、リカバリー(☞71ページ) をおこなった後に、アプリケーションソフトや、「データのバックアップ」(☞54～61ページ) で保存した各データを復元する方法を説明しています。

■ アプリケーションソフトの設定

リカバリーをおこなうと、すべてのアプリケーションソフトは自動的に復元されます。必要に応じ、アプリケーションソフトを再インストールしてください。
本製品に付属のアプリケーションソフトは、「ONKYO問合せ窓口一覧」の「※再セットアップについて」からインストールします。

1. デスクトップにある、「ONKYO問合せ窓口一覧」アイコンをダブルクリックします。

【ONKYO問合せ窓口一覧】が起動します。

2. 左側の [※再セットアップについて] をクリックします。

3. 表示される一覧から、復元するアプリケーションソフトの横にある●をクリックします。

4. 画面の指示にしたがってインストールをおこないます。

本製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールしてください。

■ バックアップしたファイルを復元する

あらかじめ外部メディアに保存しておいた、デスクトップや「ドキュメント」フォルダーにあったデータを、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

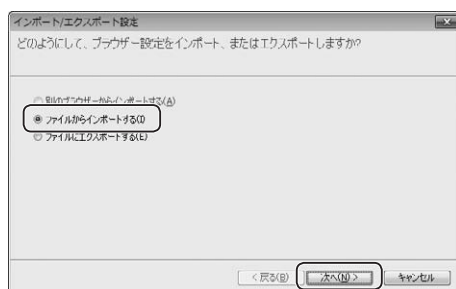
■『お気に入り』を元に戻す

Internet Explorerの『お気に入り』を復元します。

1. Internet Explorerが起動した状態で、☆ボタンをクリックし、お気に入りに追加▾の▾をクリックして表示されるメニューから [インポートおよびエクスポート] を選択します。

【インポート/エクスポート設定】ダイアログが表示されます。

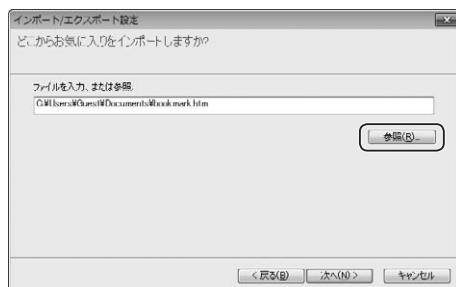
2. **[ファイルからインポートする] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**

【何をインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

3. **[お気に入り] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックします。**

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログが表示されます。

「フィード」「Cookie」をチェックすると、フィードとCookieをインポートできます。

4. **[参照] ボタンをクリックします。**

【ブックマークファイルの選択】ダイアログが表示されます。

5. **バックアップをとったお気に入りファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。**

【どこからお気に入りをインポートしますか？】ダイアログに戻ります。

6. ［次へ］ボタンをクリックします。

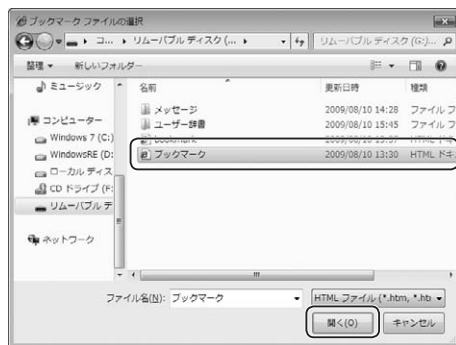
【お気に入りのインポート先フォルダーを選択】ダイアログが表示されます。

手順3で「フィード」および「Cookie」をチェックした場合、［次へ］ボタンをクリックしてください。
表示される画面の設定方法は、手順4〜6と同じです。

7. 「お気に入り」フォルダーを選択して、［インポート］ボタンをクリックします。

終了すると、【これらの設定を正しくインポートしました】ダイアログが表示されます。

8. ［完了］ボタンをクリックします。

以上で『お気に入り』の復元は完了です。

■メールアカウントの復元

Windows Liveメールで設定している、メールアカウントを復元します。

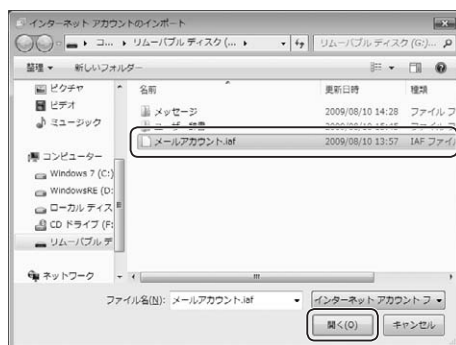
1. **ボタン→［電子メールのエクスポート］→［アカウント］を選択します。**

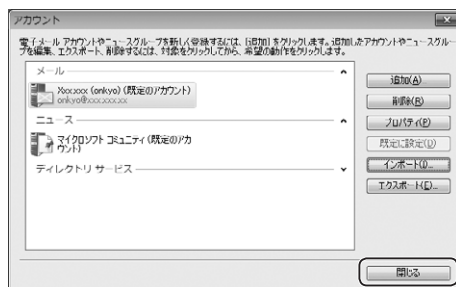
【アカウント】ダイアログが表示されます。

2. **［インポート］ボタンをクリックします。**

【インターネットアカウントのインポート】ダイアログが表示されます。

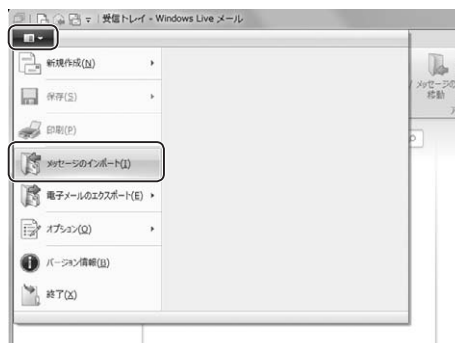
3. **バックアップをとったアカウントを選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

【アカウント】ダイアログに戻ります。

4. **［閉じる］ボタンをクリックします。**

以上でメールアカウントの復元は完了です。

■ メッセージの復元

Windows Liveメールで送受信した、メッセージを復元します。

1. **[ボタン] ボタン→［メッセージのインポート］を選択します。**

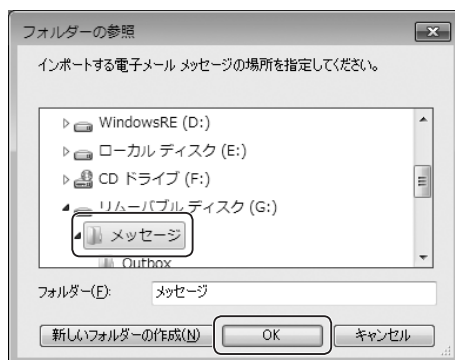
【プログラムの選択】ダイアログが表示されます。

2. **一覧から［Microsoft Windows Liveメール］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

【メッセージの場所】ダイアログが表示されます。

3. **［参照］ボタンをクリックします。**

【インポートする電子メール メッセージの場所を指定してください。】ダイアログが表示されます。

4. **バックアップをとったメッセージを選択して、［OK］ボタンをクリックします。**

【メッセージの場所】ダイアログに戻ります。

5. **［次へ］ボタンをクリックします。**

【フォルダーの選択】ダイアログが表示されます。

6. **［すべてのフォルダー］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

メッセージのインポートが開始されます。
終了すると【インポートの完了】ダイアログが表示されます。

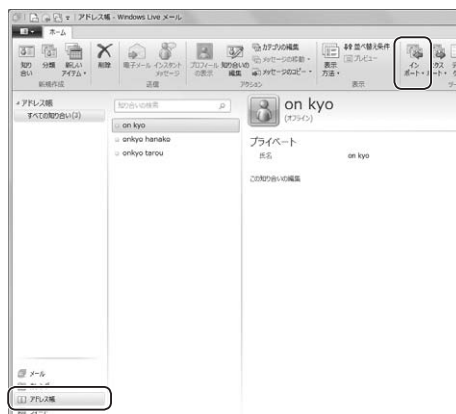
7. **［完了］ボタンをクリックします。**

以上でメッセージの復元は完了です。

■ アドレス帳の復元

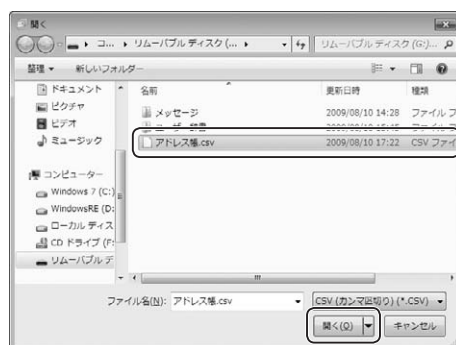
Windows Liveメールで登録した、アドレス帳を復元します。

1. **［アドレス帳］をクリックし、［インポート］→［カンマ区切り］を選択します。**

【CSVのインポート】ダイアログが表示されます。

2. **［参照］ボタンをクリックします。**

【開く】ダイアログが表示されます。

3. **バックアップをとったアドレス帳を選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

【CSVのインポート】ダイアログに戻ります。

4. **［次へ］ボタンをクリックします。**

【インポートするフィールドの割り当て】ダイアログが表示されます。

5. **インポートするフィールド（項目）にチェックをいれて、［完了］ボタンをクリックします。**

アドレス帳のインポートが開始されます。

インポートするフィールドを任意で選択することができます。
通常は、設定を変更する必要はありませんので、そのまま［完了］ボタンをクリックしてください。

■ ユーザー辞書の復元

ユーザー辞書を、次の手順で復元します。

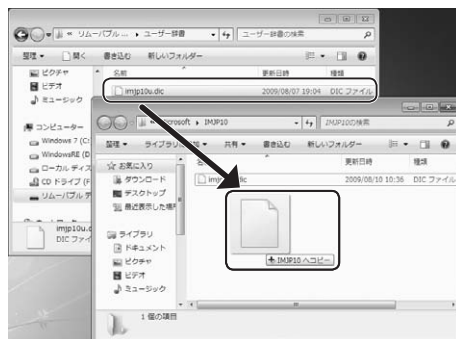
1. **［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］の順に選択します。**

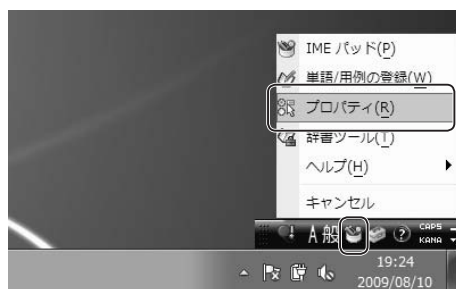
【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2. **[名前] 欄に [C：¥Users¥＊＊＊＊＊¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥IMJP10] と入力して、[OK] ボタンをクリックします。**

（＊＊＊＊＊には、現在ログイン中のユーザー名が入ります。　例：「ONKYO」など）

【IMJP10】ウィンドウが表示されます。

3. **バックアップを取ったユーザー辞書ファイルを、【IMJP10】ウィンドウ内に移動します。**

4. **言語バーのをクリックして、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。**

【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログが表示されます。

5. **[辞書/学習] タブをクリックします。**

6. **[ユーザー辞書] 欄の、[参照] ボタンをクリックします。**

【ユーザー辞書の設定】ダイアログが表示されます。

7. **手順3で【IMJP10】ウィンドウ内に移動したユーザー辞書ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。**

【Microsoft IME のプロパティ】ダイアログに戻ります。

8. **［OK］ボタンをクリックします。**

以上でバックアップの読み込みは完了です。

リカバリーの方法

ハードディスク（またはSSD）内にあるリカバリー領域を使用して、パソコンを復旧します。

リカバリーは、同梱の「Microsoft Windows7 Home Premium 32bit SP1 日本語DSP版DVD」（以下Windows DVD）でのインストールは行わず、ここで説明する「リカバリーを実行する」に記載の方法で行ってください。

本製品にWindows DVDを使用してWindowsをインストールすると、
- 本製品に必要なデータがインストールされず、正常に使用できなくなります。
- 「リカバリーを実行する」の方法を含み、工場出荷状態に戻すことができなくなります。

この場合、復旧には工場出荷時の状態に戻す修理が必要となります。
本修理は、保証期間内であっても有償となります。

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスク（またはSSD）の内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスク（またはSSD）のデータを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

- **リカバリーを実行するにはUSB対応キーボードをご用意のうえ、パソコンに接続してください。リカバリーを実行する前に、USB対応キーボード以外の周辺機器などは、すべて取り外してください。**
- **リカバリー中は、電源を切らないでください。また、リカバリーは途中で中止しないでください。**

リカバリーを実行する

リカバリーはUSB対応キーボードを用意したうえで、以下の手順で行ってください。

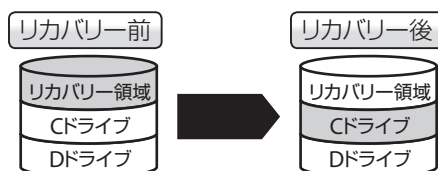
リカバリーを実行するときは、必ず本機にACアダプターを接続してください。リカバリーの実行中にバッテリーが切れると、Windowsのデータが破損する恐れがあります。

復旧方法には、「標準モード」と「高度モード」の2種類を選択できます。

SSD搭載モデルはCドライブのみの設定になっており、モードの選択はできません。

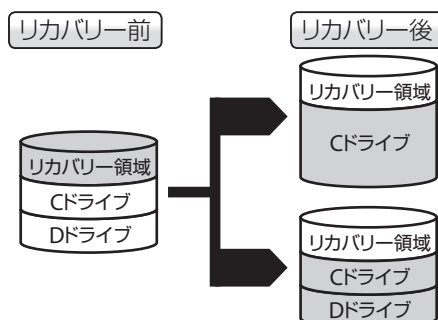
■ 標準モード

Cドライブのみを購入時の状態に復旧する方法です。

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブのデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

■ 高度モード

Cドライブ、Dドライブの両方を復旧する方法です。
HDD容量全体から、Cドライブの割合を設定することができます。

①HDDの全体をCドライブとする
ハードディスク全体を1つにまとめて、Cドライブとして復旧します。

②HDDを2つにわけて、CドライブとDドライブとする
ハードディスク全体を任意の割合で2つにわけて、Cドライブ、Dドライブとして復旧します。

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブ、Dドライブ両方のデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

ハードディスクリカバリーの手順

本製品にプリインストールされているWindows 7は、ハードディスクリカバリーができます。ハードディスクリカバリーは、以下の手順にしたがっておこなってください。

1. **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

"ONKYO"ロゴの入った画面が表示されます。

本機の電源がOFFであっても、休止状態やスリープ状態からはリカバリーを実行できません。必ず［スタート］ボタン→［シャットダウン］を選択し、本機の電源をOFFにした状態からリカバリーを実行してください。

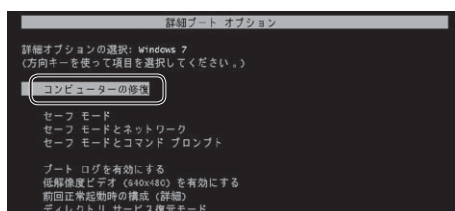
2. **"ONKYO"ロゴが消えた直後、画面が黒くなりましたら F8 キーを数回押します。**

【詳細ブート　オプション】画面が表示されます。

Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF（シャットダウン）にして再度上記手順をおこなってください。

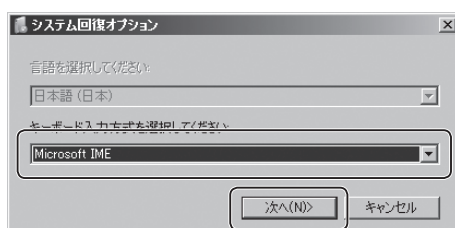
BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻してからリカバリーを実行してください。

3. **［コンピューターの修復］を選択して、Enter キーを押します。**

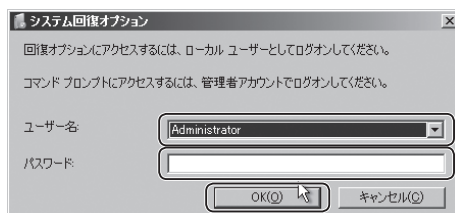
Windowsが、コンピューターの修復モードで起動します。
起動後、【システム回復オプション】ダイアログが表示されます。

4. **次のように設定されていることを確認してください。**

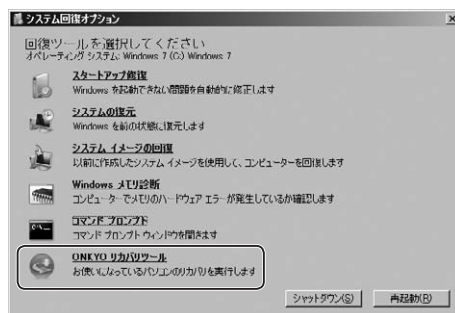
「言語を選択してください」：日本語

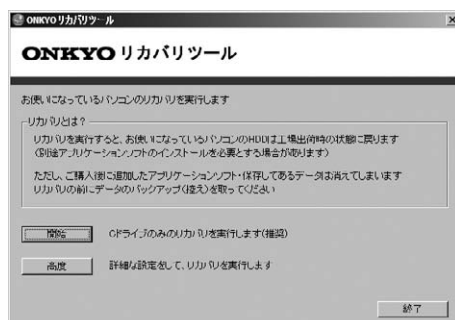
※すでに［日本語］が選択され、変更できなくなっています。設定の必要はありません。

「キーボード入力方式を選択してください」：Microsoft IME

確認後、［次へ］ボタンをクリックします。

5. **▼をクリックして、表示されるユーザー一覧からユーザーを選択します。**

6. **パスワード欄に、ログオン時に使用するパスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。**

7. **回復ツールの選択一覧から、[ONKYO リカバリツール] をクリックします。**

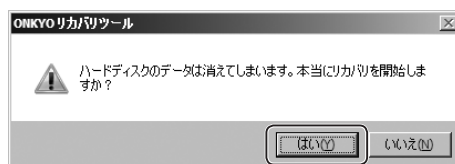
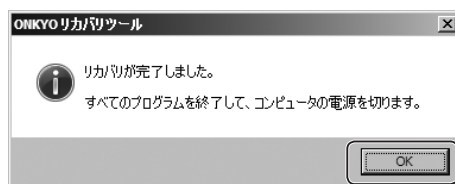
【ONKYOリカバリツール】が起動します。

8. **[開始] または [高度] ボタンのいずれかをクリックします。**

リカバリーを中止する場合は、[終了] ボタンをクリックします。【リカバリツールを終了しますか?】と表示されますので [はい] をクリックすると、手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
[シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。

■ [開始] を選択したとき

1. **[はい] ボタンをクリックします。**

リカバリーが開始されます。

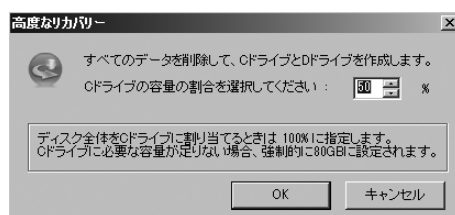
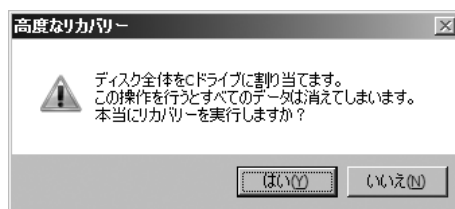
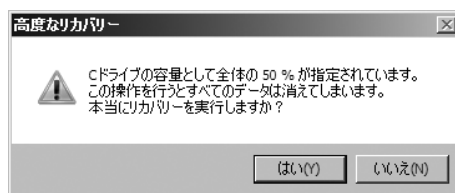
ONKYOリカバリツール
ハードディスクのデータは消えてしまいます。本当にリカバリを開始しますか？
はい(Y)　いいえ(N)

リカバリーを中止する場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。「リカバリを実行しませんでした」と表示されますので、[OK] ボタンをクリックして、【ONKYOリカバリツール】に戻ります。
[終了] ボタンをクリックすると、【リカバリツールを終了しますか?】と表示されます。[はい] をクリックして、前項ー手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
[シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。

2. **[OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。**

■ [高度] を選択したとき

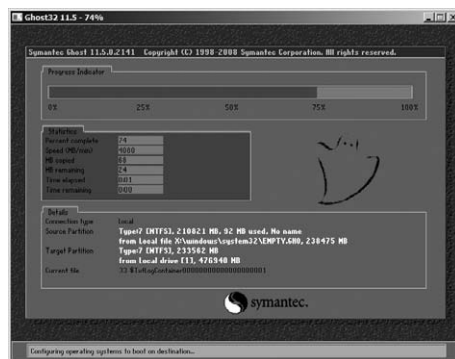
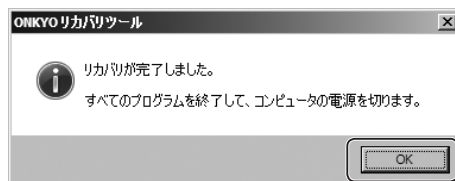
1. **Cドライブの容量の割合を設定し、[OK] ボタンをクリックします。**

・ハードディスク全体をCドライブに割り当てるときは、100%に設定します。
・設定した割合が、Cドライブ容量として不足している場合は、Cドライブは強制的に80GBに設定されます。

次のダイアログが表示されます。

任意の%に設定した場合
（HDDをCドライブとDドライブの2つに分割）

100%に設定した場合（HDD全体をCドライブ）

2. **[はい] ボタンをクリックします。**

リカバリーが始まります。リカバリー実行中は、右の画面が表示されます。

リカバリーが完了したら、完了を知らせる画面が表示されます。

3. **[OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。**

これでリカバリーは終了です。
「Windows 7をセットアップする」（☞8～11ページ）に従い、セットアップをおこなってください。

BIOSを設定する

ここではBIOSの概要と、BIOSを設定するための「BIOSセットアッププログラム」の操作方法について説明します。

BIOSとは

"BIOS"とは「Basic Input Output System」の略称で、パソコンを動作させるためのプログラムです。このBIOSの設定を正しくおこなうことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本機ではあらかじめ、最適の状態でBIOSが設定されています。ただし、本機の拡張などをおこなった際には、拡張する機器に合わせてBIOSの設定を変更する必要があります。

BIOSの設定は複雑で、誤った設定をしてしまうと、本機が正常に動かなくなる恐れがあります。特に理由もなくBIOSの設定を変更しないでください。

・ハードディスクセキュリティーなどの設定については、ONKYO電子マニュアルに付属のBIOSマニュアルを参照してください。
・BIOSを設定するには、別売のUSB対応キーボードを接続する必要があります。

BIOSセットアッププログラムの起動方法

1. **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

2. **"ONKYO"のロゴが入った画面が表示されたら、F2キーを押します。**

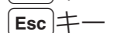
しばらくすると、セットアッププログラムの起動画面が表示されます。

※ロゴは、製品によって異なる場合があります。

・"ONKYO"ロゴが入った画面でF5キーを押すと、起動デバイスの選択画面が表示されます。
・BIOSの詳しい操作方法については、「ONKYO電子マニュアル」から「付属のマニュアル」→「BIOSセットアップマニュアル」を参照してください。

■ 項目の選択・設定の方法

BIOSセットアッププログラムは、次のキーを使って操作します。

←→キー	・メインメニューの項目を左右に移動する
↑↓キー	・項目を上下に移動する ・設定値を変更する
Enterキー	・サブメニューへ移動する ・項目選択時、別ウィンドウを開く/閉じる
Tabキー	・次項目へジャンプする
Escキー	・BIOSセットアッププログラムを終了する ・前メニューに戻る（サブメニューの場合） ・ウィンドウを閉じる（別ウィンドウが開いている場合）

廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

■ 事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

オンキヨーは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始致しております。
本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。
事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1. 事業系のお客様から、事業系専用リサイクルコールセンターにて受付。
2. 全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3. リサイクルセンターへ運搬。
4. リサイクルセンター及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、次のWebサイトにてご案内しております。

事業系パソコンリサイクル窓口 一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み **http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html**

■ 家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵便グループと提携して構築した回収システムを利用いたします。

対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。
PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。「再資源化料金」は、「リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金）」(☞78ページ)をご参照ください。

・パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社Webサイトでも紹介しております。ぜひご覧ください。
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/
・同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」(http://onkyodirect.jp/pc/used/)で、お使いのパソコンの買取り査定をおこなったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

■ 回収の仕組み

家庭/個人から排出

お申込

【家庭系パソコンリサイクル窓口】
インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

PC リサイクル マークなし

郵送にて、リサイクル費用支払い用紙が到着

支払い

リサイクル費用※の支払い
(コンビニエンスストア・郵便局)

伝票受取

「エコゆうパック伝票」到着
PC梱包時の注意事項※を確認し、エコゆうパック伝票を添付。

回収

「エコゆうパック」にて回収
「お客様持込」または、「戸口集荷」

事業者から排出

お申込

【事業系パソコンリサイクル窓口】
一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

料金体系や周辺機器などの個別条件につきまして、上記のWebサイトにてご案内しております。

再資源化

再資源施設へ
排出品の郵送状況は、ゆうびんホームページ（http://www.post.japanpost.jp/）で、「エコゆうパック伝票」のお客様控えに記載されているお問合わせ番号を検索して調べられます。

■ リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金）

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

回収対象製品	回収・再資源化料金(税込)
ノートブック型パソコン	3,150円
デスクトップ型パソコン	3,150円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,150円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,200円
液晶ディスプレイ	3,150円
CRTディスプレイ	4,200円

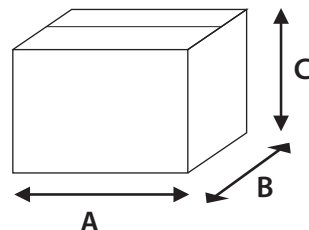
(本書制作時)

※なお、お支払い時には各種振込手数料（コンビニエンスストア：¥63、郵便局（窓口）：¥110、郵便局（ATM）：¥70）が発生します。予めご了承ください。

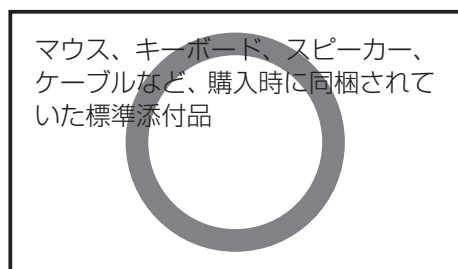
PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

■輸送途中で破損・飛散しないような簡易な梱包で構いません。
■無梱包での輸送はできません。

◎梱包する際の条件は以下の通りです
・ダンボール箱(もしくは破れにくい袋)
・排出パソコンを含み、重さ30kgまで
・A+B+Cの長さ＝1.7m以内

＜条件を満たさない場合＞
梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。
その際は、リサイクルセンター受付窓口までご連絡ください。

◎デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱(もしくは袋)に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。

回収時の条件(回収規約)

オンキヨー及びソーテック製パーソナルコンピューターまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約(http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/images/20080910.pdf)をご確認頂き、同意して頂いた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

家庭系パソコンリサイクル窓口

インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

■ 市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(平成三年四月二十六日法律第四十八号)第二十六条に基づく「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済パーソナルコンピューターの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(平成十三年三月二十八日経済産業省・環境省令第一号)第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

【市町村からの引取り条件】
市町村は、消費者と同じ手続き・条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピューターの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。

- ●市町村は弊社へ回収の申込みをおこないます。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。
- ●廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。
- ●市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局(簡易郵便局を除く)へ持ち込むことにより、弊社は使用済みパーソナルコンピューターを引き取ります。

注)製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。

※回収再資源化料金については、「リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)」(☞78ページ)をご確認ください。

■ 廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記録装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合に、一般に

- ・データを「ごみ箱」に捨てる
- ・「削除」操作をおこなう
- ・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ソフトで初期化(フォーマット)する
- ・ハードディスクのリカバリーをおこない、工場出荷状態に戻す

などの作業をしますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態なのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンユーザーが破棄・譲渡等をおこなう際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリーケーションソフトなど)を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認をおこなう必要があります。

索　引

ら

わ

英数字

・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・本製品にあらかじめインストールされているWindows 7以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
・本書のすべての内容は著作権法によって保護されています。オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社の許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品は、人命にかかわる設備や機器（医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など）や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

TW3A-A35シリーズ　ユーザーズガイド　2012年11月 初版

・Intel、Intel insideロゴ、Intel Core、Celeron、Pentium、Centrino、Atomはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
・Microsoft、Windows、Outlookは米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Symantec、Symantecロゴ、Ghostは、Symantec Corporationの登録商標です。

・VGAは米国IBM社の登録商標です。
・SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C,LLCの商標です。
・miniSDはSD Card Associationの商標です。
・MMCは、独国Infineon Technologies AGの商標です。
・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　（　　）
メモ：

ONKYO®

オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社
本社　東京都台東区柳橋1丁目4番4号　〒111-0052

P1211-1

DC01-N1166-02A